

# 日置市学校施設等長寿命化計画



令和3年3月

日置市教育委員会

# 目 次

第1章 計画の目的と方針 .....	1
1. 計画の背景と目的 .....	2
2. 学校施設等の目指すべき姿 .....	8
第2章 施設の実態把握 .....	9
1. 学校施設等を取り巻く状況 .....	10
2. 運営状況・活用状況の把握 .....	17
3. 学校施設等の老朽化状況 .....	31
第3章 施設整備の基本方針 .....	49
1. 学校施設の規模・配置計画等の方針 .....	50
2. 改修等の基本的な方針 .....	52
第4章 整備水準 .....	57
1. 改修等の整備水準 .....	58
2. 維持管理の項目・手法等 .....	59
第5章 実施計画 .....	61
1. ライフサイクルコストの算定 .....	62
2. 施設評価及び改修等の優先順位 .....	66

---

# 第1章 計画の目的と方針

---

# 1 計画の背景と目的

## (1) 計画の背景

本市の学校施設等は、高度経済成長期を契機として昭和 40 年代後半から 50 年代に集中して整備され、築 30 年以上を経過する建物が全体の 5 割以上、築 40 年以上が 3 割以上を占め、今後、集中的な改築や改修、修繕等の老朽化対策が必要となります。

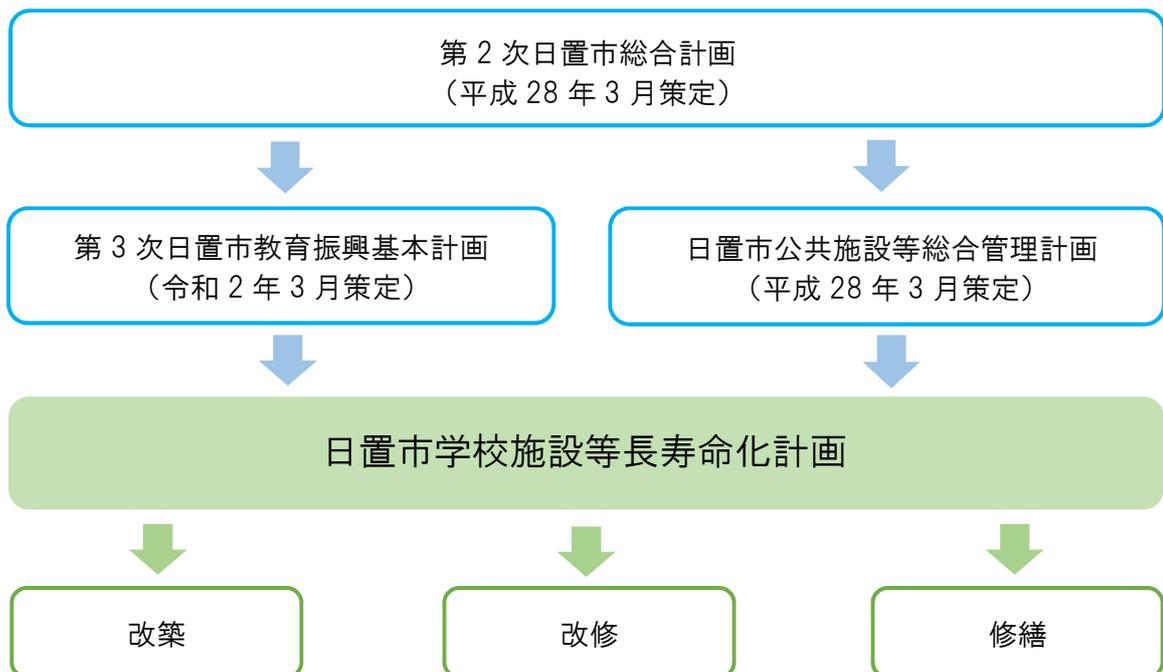
施設の老朽化が進む一方、人口減少や生産年齢人口の減少等により本市の財政状況が厳しくなることから、施設の長期活用等によるコスト削減が必要となります。

## (2) 計画の目的

日置市学校施設等長寿命化計画（以下、「本計画」という）は、中長期的な視点から学校施設として求められる機能や役割などを考慮しながら、施設整備の方向性や優先順位等を設定することで、施設整備に要するライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化を図った事業計画策定を目的とします。

## (3) 計画の位置づけ

本計画は、「日置市総合計画」や「日置市教育振興基本計画」、「日置市公共施設等総合管理計画」等の上位計画と整合を図った、学校施設等の個別施設計画です。今後、施設の改築や改修、修繕等は本計画に基づいて実施します。



## 【要約】第2次日置市総合計画（平成28年3月）

### 第1編 総論

#### 第1章 計画策定に当たって

##### 第1節 計画策定の趣旨

基本構想に掲げた「日置市の将来都市像」の実現に向けて、本市のまちづくりを総合的かつ計画的に進めます。

##### 第2節 計画期間

- 1 基本構想：平成28年4月1日から平成38年3月31日
- 2 基本計画：（前期）平成28年度から平成32年度までの5年間  
（後期）平成33年度から平成37年度までの5年間

### 第2編 基本構想

#### 第1章 基本理念と将来都市構造

##### 2 将来都市像

『住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき』

### 第3編 基本計画

#### 分野別計画

##### 第4節 豊かな心と感性を育てるまちづくり【教育・文化・スポーツ】

##### 1 知徳体のバランスのとれた子どもの育成〔学校教育等〕

##### (1) 個性を育む特色ある学校教育等の推進

ウ 日置市立小・中学校の在り方に関する基本方針により、平成26年4月に策定した10年間の学校再編計画に基づき、保護者や地域住民の合意形成を前提に教育体制の見直しを通して、特色ある学校づくりを推進します。

エ 幼児教育から小学校教育への円滑な移行が進むように、幼稚園・保育園と小学校の連携を図ります。

##### (4) 教育環境の整備充実

ア 老朽化した学校施設・設備の更新を計画的に進め、安心・安全な学校づくりを推進します。

イ 情報化社会に対応できる力を育成するために、ICT機器の整備に努めます。

## 【要約】第3期日置市教育振興基本計画（令和2年3月）

### 第1章 計画策定の趣旨

#### 1 計画の位置付け

本計画は、平成22年2月に策定した日置市教育振興基本計画及び平成27年4月に策定した第2期日置市教育振興基本計画の取組における課題や成果を基に、平成30年6月に策定された国の第3期教育振興基本計画をはじめ、平成31年2月に策定された鹿児島県教育振興基本計画を参酌し、策定したものであります。

また、本計画は、総合的なまちづくり計画として策定されている「第2次日置市総合計画」をはじめとする、各種計画との整合性を図りながら作成されたものであります。

#### 2 計画の期間

本計画は令和2年度から令和6年度まで（5か年計画）の計画となります。

### 第3章 本市の基本方針

#### 1 基本目標と施策

##### (1) 基本目標

### 『夢をもち あしたをひらく 心豊かな人づくり』

#### 2 施策の方向性

#### Ⅳ 安全・安心を重んじる教育環境づくりの推進

##### ア 施設設備の計画的整備・適正維持管理

##### 具体的施策

- ①日吉学園開校に向けて、校舎の増築、改修を予定しています。
- ②老朽化等による安全性、機能性等が低下した施設や遊具、現在の教育環境に適應しにくい施設を修繕、改修することにより、教育環境の向上、機能改善や長寿命化を図ります。
- ③学校施設を長期にわたり有効に活用するため、老朽化した学校施設の適時適切な維持管理や補修を実施するとともに、環境との共生、バリアフリー化、健康や安全性などに配慮した施設整備に努めます。

##### エ 学校給食の適正かつ円滑な推進

##### 具体的施策

- ④伊集院・東市来両学校給食センターについては、短期的な取組みとして、現行の学校給食衛生管理基準に適合させるための改善、施設の維持修繕及び調理器具等の年次的な更新を行い、長期的な取組としては、給食センターの建設の在り方について検討を進めます。

##### オ 学校規模の適正化

##### 具体的施策

- ①日置市立小・中学校の在り方に関する基本方針により、平成26年4月に策定した今後10年間の再編計画に基づき、保護者や地域住民の合意形成を前提に段階的な再編を進めます。

## 【要約】日置市公共施設等総合管理計画（平成28年3月）

### 第3章 公共施設等の総合的な管理に関する基本方針

#### 1 公共施設等総合管理計画の目的

長期的な視点をもって計画的に施設の更新・統廃合・長寿命化などを行うことで、財政負担を軽減・平準化することにつなげることを目的とします。

#### 3 計画期間

平成28年度から平成37年度までの10年間

#### 5 基本方針と目標設定

基本方針	目標数値	具体的取組み例
保有総量の縮小による将来更新負担額の軽減	施設の保有面積を10年間で10%削減	<ul style="list-style-type: none"><li>● 未利用財産の処分</li><li>● 複合化・統廃合の推進</li><li>● 建築後45年以上経過した施設の整備方法の決定</li></ul>
長寿命化の推進によるLCCの低減	長寿命化60→70年でLCC20%削減	<ul style="list-style-type: none"><li>● 建築後30年以上経過した施設の調査と方向性検討</li><li>● 予防保全実施体制のためのマニュアルの整備</li></ul>
施設管理の効率化によるコストの削減	維持管理コストを10年間で10%削減	<ul style="list-style-type: none"><li>● 光熱水費等のコスト削減策の検討、実施</li><li>● 指定管理、民営化など民間活力活用の推進</li></ul>

### 第4章 施設類型ごとの基本方針

#### 1 建物系公共施設

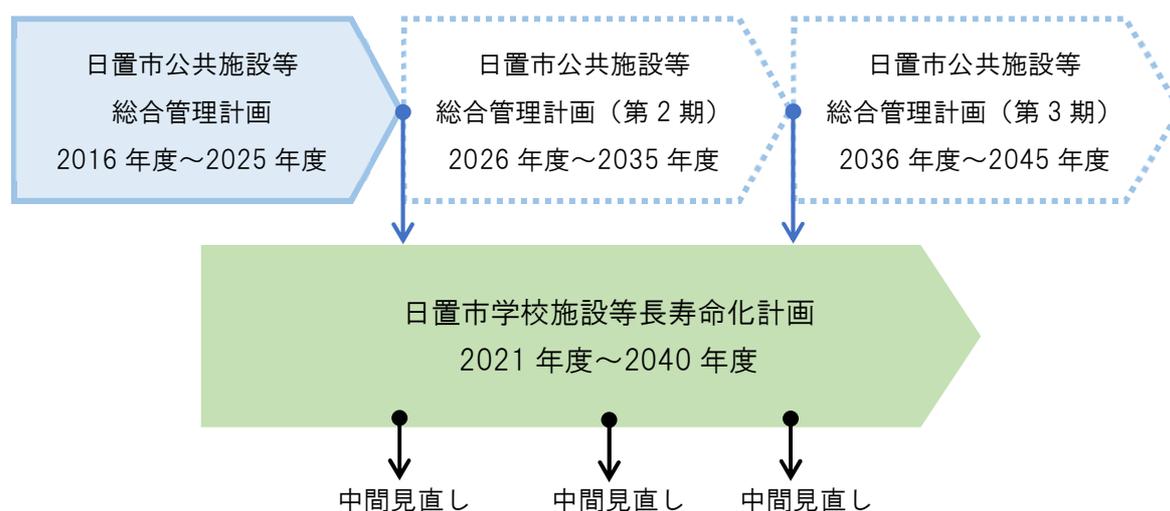
##### (5) 学校教育系施設

よりよい教育環境を維持するため、老朽化に伴う建替えや大規模な修繕を計画的に行っていきます。将来の人口動向も考慮の上、保護者や地域住民の合意形成を前提に、引き続き学校の再編を進め、新たに小中一貫校の検討を行うなど、保有総量の縮小につなげます。

給食センターは、市職員退職後も直営での運営を検討し、コスト削減等につなげます。

## (4) 計画期間

建物の寿命は長く、長期的視点での方向性が必要なことから、本計画期間は20年間とします。基本的に5年ごとに中間見直しを行います。上位計画である「日置市公共施設等総合管理計画」等が更新された場合や、社会情勢・財政状況の変化、法律の改定等により計画に支障をきたす場合は、適宜見直しを行います。



## (5) 対象施設

本計画の対象施設は、小学校14校、中学校7校、幼稚園3園、給食センター3施設、教職員住宅47戸とします。対象施設の棟数は269棟、延床面積は9.4万㎡です。

区分	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	対象建物
小学校	鶴丸小学校	東市来町長里165番地2	3,323	11
	伊作田小学校	東市来町伊作田2056番地1	3,135	10
	湯田小学校	東市来町湯田4042番地3	4,390	5
	上市来小学校	東市来町養母11421番地	2,920	11
	美山小学校	東市来町美山89番地2	2,237	9
	伊集院小学校	伊集院町下谷口1836番地1	8,560	10
	飯牟礼小学校	伊集院町飯牟礼1049番地1	2,301	9
	土橋小学校	伊集院町土橋1377番地	2,407	4
	伊集院北小学校	伊集院町下神殿1995番地1	3,872	6
	妙円寺小学校	伊集院町妙円寺一丁目112番地	5,177	10
	永吉小学校	吹上町永吉14126番地	2,655	11
	伊作小学校	吹上町中原2485番地	4,823	9
	花田小学校	吹上町田尻239番地	2,378	6
	和田小学校	吹上町和田2104番地	2,229	9

区分	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	対象建物
中学校	東市来中学校	東市来町長里2684番地2	6,042	14
	上市来中学校	東市来町養母5613番地1	2,637	9
	伊集院中学校	伊集院町下谷口1547番地	7,708	16
	伊集院北中学校	伊集院町下神殿1154番地	5,986	19
	土橋中学校	伊集院町土橋1350番地	2,258	8
	日吉中学校（日吉学園）	日吉町日置356番地	6,647	11
	吹上中学校	吹上町中原1691	6,291	16
幼稚園	東市来幼稚園	東市来町長里178番地	230	2
	飯牟礼幼稚園	伊集院町飯牟礼1049番地1	170	1
	土橋幼稚園	伊集院町土橋1377番地	220	1
給食 センター	日置市 東市来学校給食センター	東市来町長里27番地1	598	2
	日置市立 伊集院学校給食センター	伊集院町下谷口1835番地	630	1
	日置市立 南学校給食センター	吹上町中原1691番地	588	2
教職員住宅	鶴丸小学校	-	145	2
	伊作田小学校	-	146	2
	湯田小学校	東市来町湯田4042番地3	84	1
	上市来小学校	-	153	2
	美山小学校	-	154	2
	伊集院小学校	-	145	2
	飯牟礼小学校	-	145	2
	土橋小学校	-	163	2
	伊集院北小学校	伊集院町下神殿2703番地	163	2
	妙円寺小学校	-	171	2
	日吉小学校（日吉学園）	-	161	2
	永吉小学校	-	135	2
	伊作小学校	-	154	2
	花田小学校	-	162	2
	和田小学校	-	242	3
	東市来中学校	-	151	2
	上市来中学校	東市来町養母5613番地9	158	2
	伊集院中学校	伊集院町郡1969番地1	109	1
	伊集院北中学校	-	164	2
	土橋中学校	-	165	2
	日吉中学校（日吉学園）	-	153	2
	吹上中学校	-	208	3
	教職員住宅 （学校施設台帳に記載のない建物）	-	226	3

資料：令和1年度日置市公立学校施設台帳、日置市HP、日置市資料

## 2 学校施設等の目指すべき姿

第3期日置市教育振興基本計画の基本目標である『夢をもち あしたをひらく 心豊かな人づくり』の実現のため、諸施策を推進します。基本目標の実現に向け、施設整備の観点から学校施設等の目指すべき姿を設定します。

目指すべき姿	施設整備の方向性	施設整備内容（例）
安全・安心な学校づくり	自然災害に強い環境整備を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非構造部材の耐震補強</li> <li>● 避難経路の充実</li> <li>● 避難所としての機能強化</li> </ul>
	安全・安心な環境整備を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・設備・遊具の老朽化対策</li> <li>● 監視カメラ等の設置</li> </ul>
教育環境が充実した学校づくり	教育環境整備を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・設備の機能性向上</li> <li>● 多目的空間や少人数指導空間の整備</li> <li>● ICT環境整備の充実</li> <li>● 適正な照度確保</li> <li>● トイレの様式化</li> </ul>
	運動環境整備を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋内運動場の老朽化対策</li> <li>● 校庭やプール等の老朽化対策</li> </ul>
	ユニバーサルデザインを推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スロープや手すり等の設置</li> <li>● 多目的トイレの整備</li> <li>● エレベータの設置</li> </ul>
自然環境へ配慮した学校づくり	自然環境へ配慮した環境整備を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内装の木質化</li> <li>● 施設の省エネルギー化</li> <li>● 自然エネルギーの活用</li> <li>● 施設の断熱化</li> <li>● 校庭や屋上等の緑化</li> </ul>
地域の拠点となる学校づくり	地域拠点としての施設利用を推進します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋内運動場、校庭、教室の開放</li> <li>● 空き教室の利用</li> </ul>

---

## 第2章 施設の実態把握

---

# 1 学校施設等を取り巻く状況

## (1) 日置市の概要

### ① 位置

本市は県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、面積は 253.01k m<sup>2</sup>です。

東は県都鹿児島市、北はいちき串木野市と薩摩川内市、南は南さつま市に隣接し、西は東シナ海に面しています。

### ② 地勢

市東側は山地が連なり、市西側は海岸平野で形成され、各河川が流れ込む吹上浜は「日本の渚百選」にも選ばれ、吹上浜県立自然公園に指定されています。

市街地を含む平野は鹿児島特有の火山灰台地で、古くから温泉地として人々の交流が図られ、風情ある温泉街は日帰りや滞在型観光の大きな資源となっています。

### ③ 沿革

平成 17 年 5 月 1 日に旧東市来町、旧伊集院町、旧日吉町、旧吹上町の 4 町が合併し「日置市」が誕生しました。



図：本市の位置

資料：日置市 HP

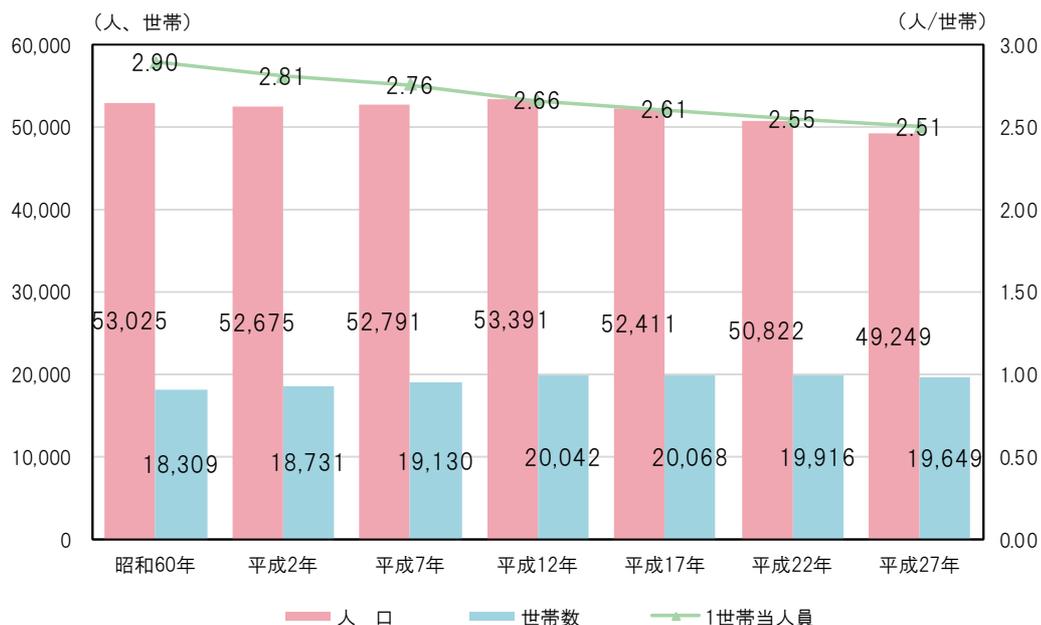
## (2) 人口・世帯数の推移

### ① 人口・世帯数の推移

人口は、平成12年まで5.3万人前後を推移していましたが、平成17年以降減少に転じ、平成27年には5万人を下回り、30年間で3,776人減少しています。

世帯数は、平成12年に2万世帯を超えましたが、平成22年以降2万世帯を下回り、30年間で1,340世帯増加しています。

世帯人員は、年々減少し核家族化が進行しています。



図：人口・世帯数の推移

資料：国勢調査

### ② 年齢別人口の推移

年齢3区分別人口は、30年間で15歳未満は3,913人、15～64歳は5,705人減少しています。一方、65歳以上は年々増加し、30年間で5,412人増加しています。

表：年齢3区分別人口の推移

単位：人

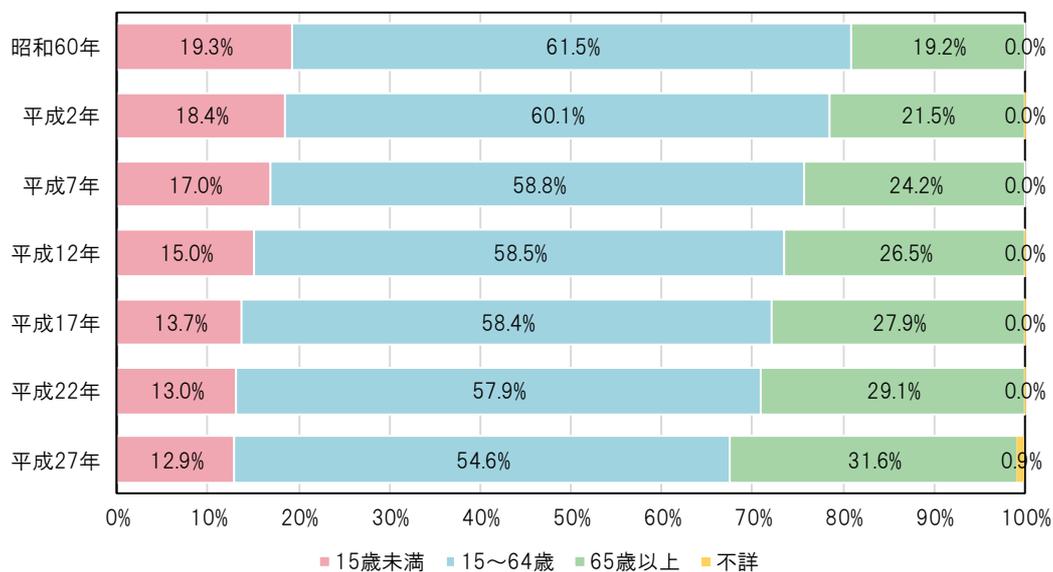
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
15歳未満	10,254	9,688	8,962	8,025	7,205	6,611	6,341
15～64歳	32,614	31,642	31,038	31,235	30,595	29,407	26,909
65歳以上	10,157	11,337	12,791	14,127	14,605	14,801	15,569
不詳	0	8	0	4	6	3	430

資料：国勢調査

※平成12年以前の数値は、旧東市来町、旧伊集院町、旧日吉町、旧吹上町の数値を合算

年齢3区分別人口割合は、30年間で15歳未満は3割減少、15～64歳は1割減少しています。65歳以上は1.6倍に増加しています。

平成2年に65歳以上が15歳未満を超え、少子高齢化が顕著になりました。あわせて、65歳以上が21%を超えたことで超高齢社会に突入しました。



図：年齢3区分別人口割合の推移

資料：国勢調査

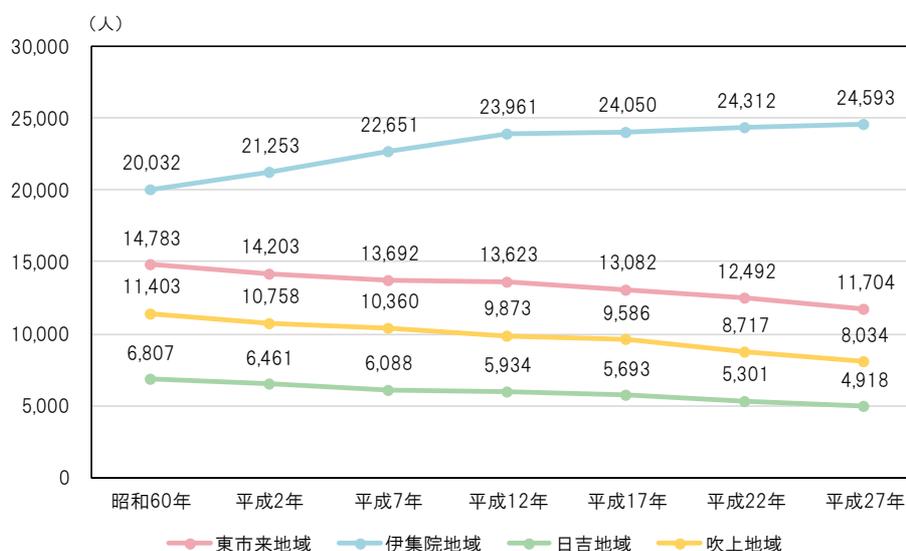
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### (3) 地域別の人口・世帯数の推移

地域別に人口の推移をみると、伊集院地域は30年間で1.2倍に増加しています。東市来地域は2割減少、日吉地域と吹上地域は3割減少しています。

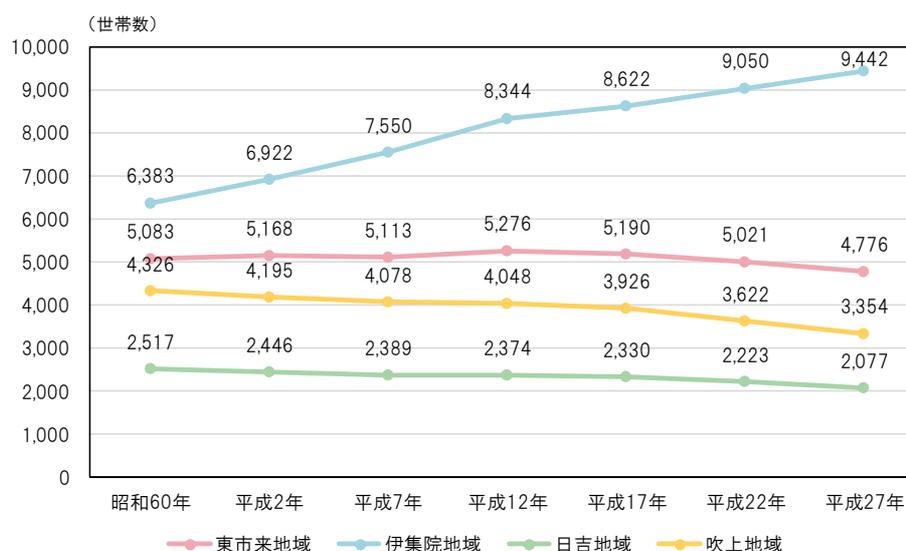
地域別の世帯数の推移は、伊集院地域は30年間で1.5倍に増加しています。東市来地域は1割減少、日吉地域と吹上地域は2割減少しています。

市人口の半数は伊集院地域に居住し、東市来地域は2割半ば、吹上地域は1割半ば、日吉地域は1割です。



図：地域別の人口の推移

資料：国勢調査



図：地域別の世帯数の推移

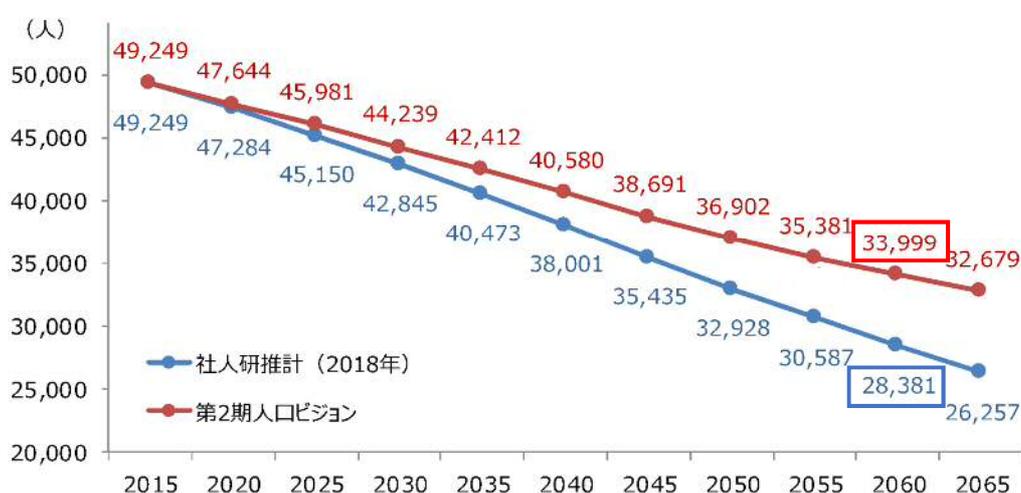
資料：国勢調査

## (4) 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所は、2060年の本市の人口を2.8万人と推計しており、これは平成27年人口の6割にあたります。

本市は、人口減少の克服と地方創生に向けた対策の展開検討のため、令和2年4月に「第2期日置市人口ビジョン」を策定し、将来人口のシミュレーションを行いました。結果として、人口減少に歯止めをかける施策を展開することで、2060年人口を3.4万人（平成27年の7割）に維持できるとしています。

同ビジョンでは年齢3区分別人口も推計しており、2060年の15歳未満人口は5.4千人（平成27年より1千人減少）と予測しています。



図：人口推計結果

資料：第2期日置市人口ビジョン

表：年齢3区分別人口推計結果

	2015年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2060年-2015年
総人口 (人)	49,249	47,644	44,239	40,580	36,902	33,999	▲ 15,250
年少人口 (15歳未満)	6,393	6,368	5,940	5,609	5,342	5,384	▲ 1,009
生産年齢人口 (15~64歳)	27,137	24,645	21,484	19,303	16,708	15,337	▲ 11,800
老年人口 (65歳以上)	15,719	16,631	16,815	15,668	14,852	13,278	▲ 2,441
出典	国勢調査	第2期日置市人口ビジョン推計					-

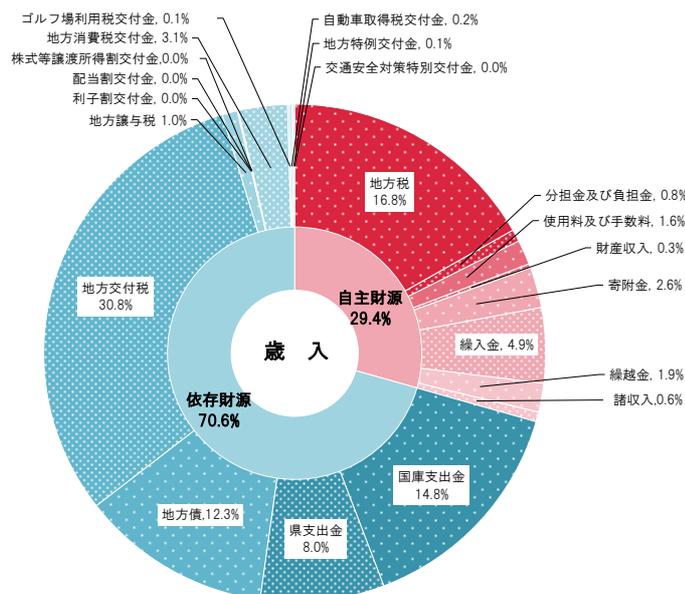
資料：第2期日置市人口ビジョン

## (5) 財政状況

### ① 歳入（一般会計）の内訳

平成30年度決算の歳入額は280.2億円です。歳入の3割が自主財源、7割が依存財源です。区分別にみると、「地方交付税」が3割、「地方税」と「国庫支出金」が1割半ば、「地方債」が1割強で多くなっています。

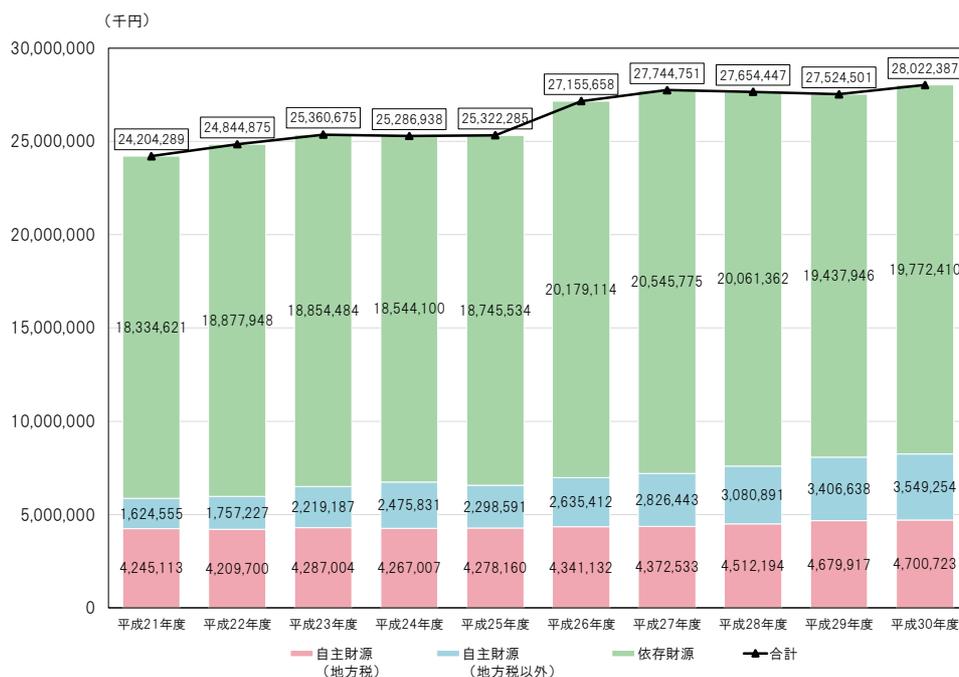
歳入の推移をみると、「自主財源」、「依存財源」とも増加傾向です。「自主財源」は10年間で5ポイント増加し、特に「地方税以外の自主財源」は2倍以上になっています。



図：平成30年度 歳入（一般会計）の内訳

資料：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。



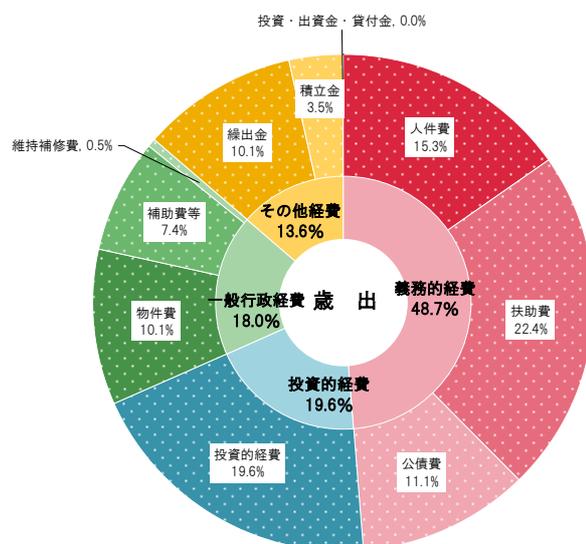
図：歳入（一般会計）の推移

資料：総務省決算カード

## ② 歳出（一般会計）の内訳

平成30年度決算の歳出額は270.3億円です。歳出の5割を義務的経費が占め、投資的経費と一般行政経費が2割ずつ、その他経費が1割です。区分別にみると、「扶助費」と「投資的経費」が2割、「人件費」が1割半ばで多くなっています。

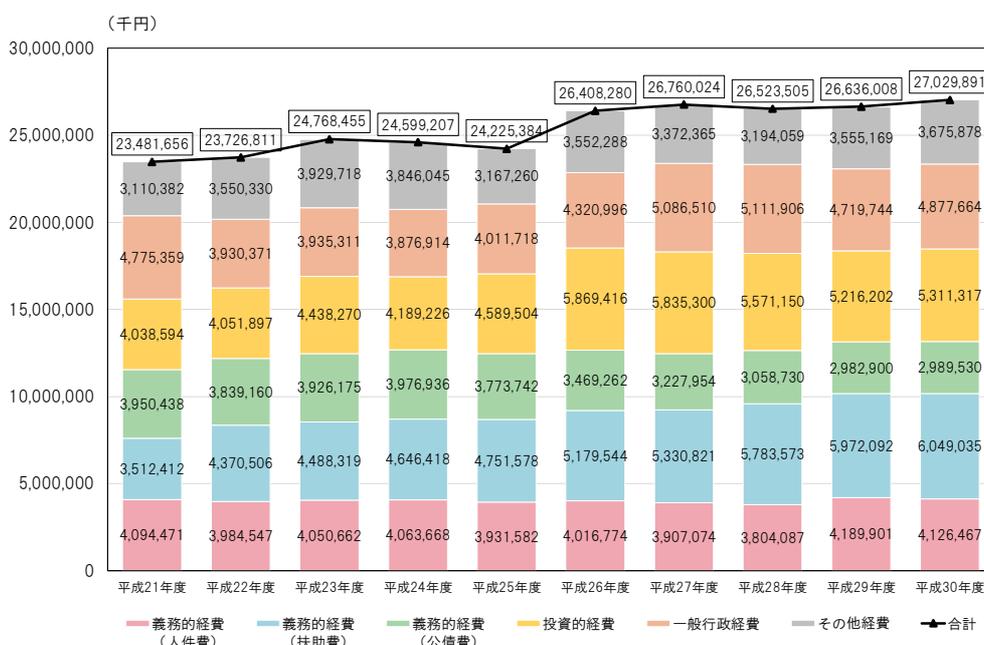
歳出の推移をみると、「扶助費」と「投資的経費」が年々増加しており、10年間で「扶助費」1.7倍、「投資的経費」は1.3倍になっています。今後も高齢化の進行による「扶助費」や、公共施設等の老朽化による「投資的経費」の増加は続くと予想されます。



図：平成30年度歳出（一般会計）の内訳

資料：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。



図：歳出（一般会計）の推移

資料：総務省決算カード

## 2 運営状況・活用状況の把握

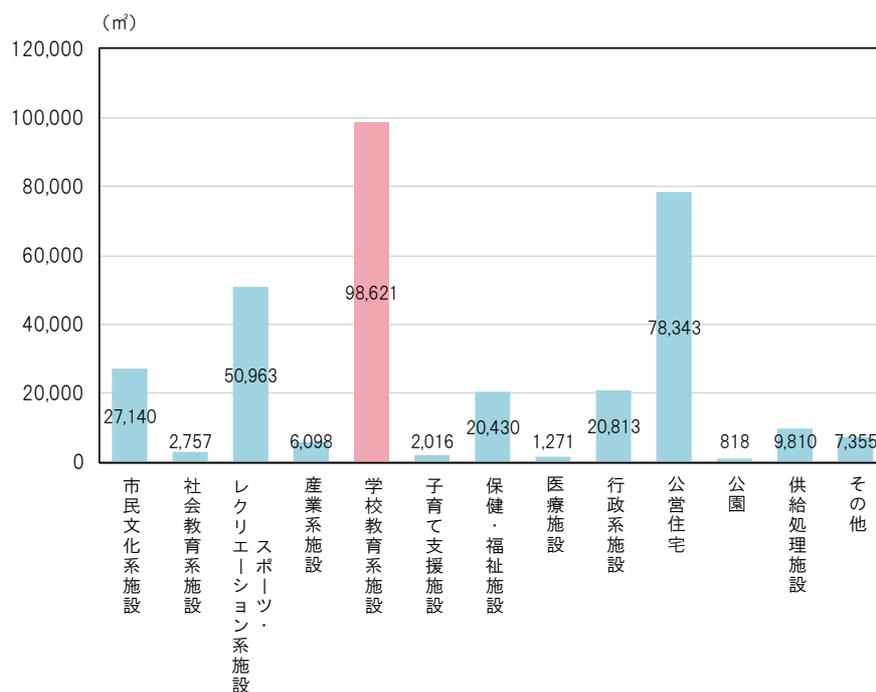
### (1) 公共施設の保有状況

「日置市公共施設等総合管理計画」によると、本市の建築系公共施設は379施設、延床面積は32.6万㎡です。その中で、学校教育系施設（学校施設、給食センター、幼児・児童施設）の延床面積が最も多く、全体の3割を占めています。

表・図：建築系公共施設の状況

施設分類	施設数	延床面積	
		面積(㎡)	構成比
市民文化系施設	31	27,140	8.3%
社会教育系施設	5	2,757	0.8%
スポーツ・レクリエーション系施設	27	50,963	15.6%
産業系施設	15	6,098	1.9%
学校教育系施設	29	98,621	30.2%
子育て支援施設	9	2,016	0.6%
保健・福祉施設	15	20,430	6.3%
医療施設	1	1,271	0.4%
行政系施設	40	20,813	6.4%
公営住宅	131	78,343	24.0%
公園	38	818	0.3%
供給処理施設	2	9,810	3.0%
その他	36	7,355	2.3%
合計	379	326,435	100.0%

資料：日置市公共施設等総合管理計画（平成28年3月策定）



## (2) 学校施設等の保有状況

本市の学校施設等の保有状況は、269 棟、延床面積 9.4 万㎡です。下記が施設別の保有状況です。

表：学校施設等の保有状況

小学校	開校年度	棟数 (棟)	総床面積 (㎡)	校地面積 (㎡)
鶴丸小学校	明治 11 年 (1878)	11	3,323	16,656
伊作田小学校	明治 11 年 (1878)	10	3,135	12,416
湯田小学校	明治 11 年 (1878)	5	4,390	15,937
上市来小学校	明治 11 年 (1878)	11	2,920	17,343
美山小学校	明治 10 年 (1877)	9	2,237	9,146
伊集院小学校	明治 5 年 (1872)	10	8,560	22,383
飯牟礼小学校	明治 19 年 (1886)	9	2,301	10,247
土橋小学校	明治 25 年 (1892)	4	2,407	9,059
伊集院北小学校	昭和 32 年 (1957)	6	3,872	28,290
妙円寺小学校	昭和 59 年 (1984)	10	5,177	40,492
永吉小学校	明治 12 年 (1879)	11	2,655	10,983
伊作小学校	明治 11 年 (1878)	9	4,823	16,318
花田小学校	明治 12 年 (1879)	6	2,378	10,957
和田小学校	明治 12 年 (1879)	9	2,229	10,593
14 校	-	120	50,407	230,820

中学校	開校年度	棟数 (棟)	総床面積 (㎡)	校地面積 (㎡)
東市来中学校	昭和 22 年(1947)	14	6,042	28,150
上市来中学校	昭和 22 年(1947)	9	2,637	38,959
伊集院中学校	昭和 22 年(1947)	16	7,708	31,997
伊集院北中学校	昭和 22 年(1947)	19	5,986	29,062
土橋中学校	昭和 22 年(1947)	8	2,258	14,932
日吉中学校 (日吉学園)	昭和 47 年(1972)	11	6,647	33,204
吹上中学校	昭和 53 年(1978)	16	6,291	40,788
7 校	-	93	37,569	217,092

幼稚園	開校年度	棟数 (棟)	総床面積 (㎡)	園地面積 (㎡)
東市来幼稚園	昭和 46 年 (1971)	2	230	700
飯牟礼幼稚園	昭和 44 年 (1969)	1	170	580
土橋幼稚園	昭和 44 年 (1969)	1	220	1,038
3 園	-	4	620	2,318

給食センター	設置年度	棟数 (棟)	総床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
日置市東市来学校給食センター	平成2年(1990)	2	598	1,337
日置市立伊集院学校給食センター	昭和62年(1987)	1	630	971
日置市立南学校給食センター	平成22年(2010)	2	588	2,114
3施設	-	5	1816	4,422

資料：令和1年度日置市公立学校施設台帳

教職員住宅	設置年度	棟数 (棟)	総床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
鶴丸小学校	-	2	145	529
伊作田小学校	-	2	146	1,088
湯田小学校	平成17年(2005)	1	84	143
上市来小学校	-	2	153	655
美山小学校	-	2	154	2,193
伊集院小学校	-	2	145	695
飯牟礼小学校	-	2	145	1,940
土橋小学校	-	2	163	1,019
伊集院北小学校	-	2	163	2,387
妙円寺小学校	-	2	171	1,101
日吉小学校(日吉学園)	-	2	161	585
永吉小学校	-	2	135	764
伊作小学校	-	2	154	304
花田小学校	-	2	162	565
和田小学校	-	3	242	893
東市来中学校	-	2	151	332
上市来中学校	-	2	158	1,061
伊集院中学校	昭和63年(1988)	1	109	341
伊集院北中学校	-	2	164	709
土橋中学校	-	2	165	1,015
日吉中学校(日吉学園)	-	2	153	815
吹上中学校	-	3	208	1,035
伊集院中学校校長住宅※	平成元年(1989)	1	82	405
伊集院教職員住宅2※	平成3年(1991)	1	82	456
日置教職員住宅※	昭和53年(1978)	1	62	605
25施設	-	47	3,657	21,635

資料：令和1年度日置市公立学校施設台帳、日置市固定資産台帳システム、日置市資料

合計	52施設	269棟	94,069㎡
----	------	------	---------

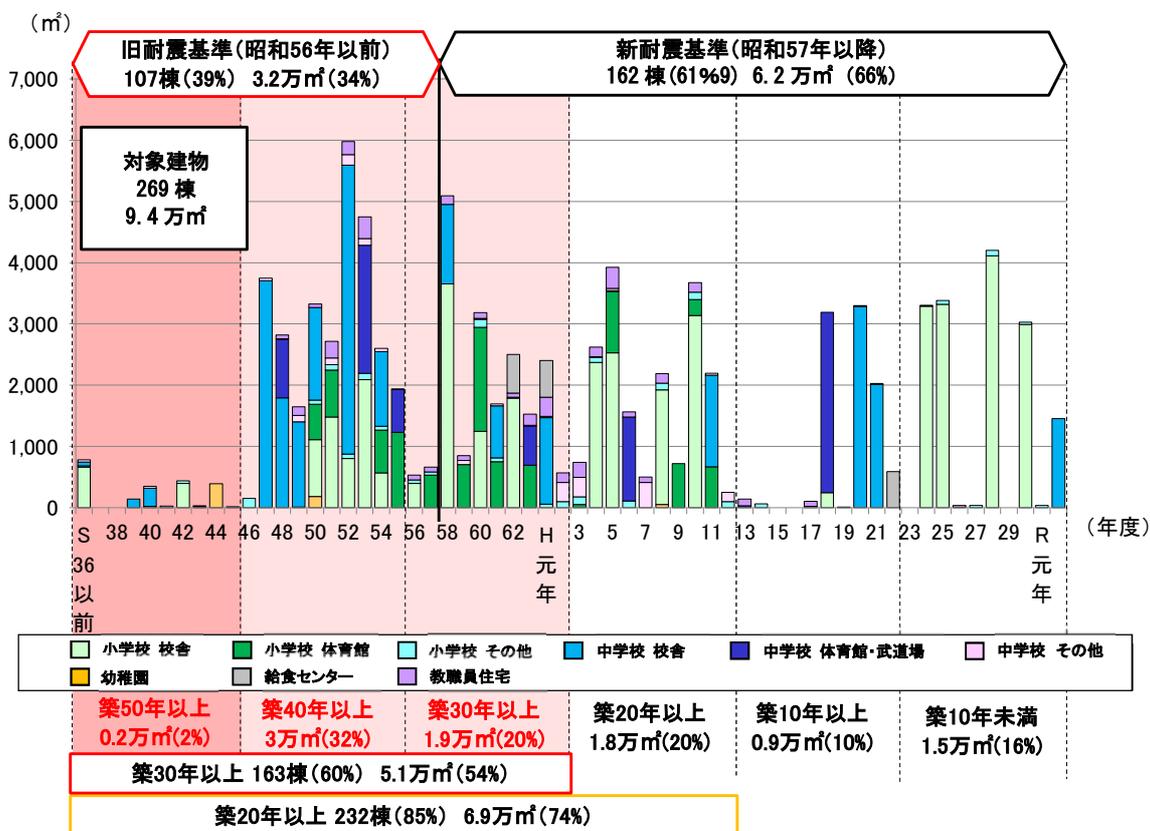
※学校施設台帳に記載されていない建物

昭和 56 年度以前に建設された建物は 107 棟、床面積 3.2 万㎡、昭和 57 年度以降は 162 棟、床面積 6.2 万㎡となっています。

「旧耐震基準（昭和 56 年 5 月以前）」で建設された建物は 104 棟、「新耐震基準（昭和 56 年 6 月以降）」の建物が 165 棟です。「旧耐震基準」104 棟のうち、延床面積が 200 ㎡以上の建物は、平成 30 年度に構造体の耐震化が完了しています。

築 40 年以上 50 年未満の建物が 3 割と最も多く、築 20 年以上 30 年未満と築 30 年以上 40 年未満が 2 割ずつとなっています。

築 30 年以上の建物が 5 割以上を占め、今後改築や改善、修繕等の対策が必要となります。



※基準年は 2020 年度とする。

※作図プログラムにより、耐震基準の判定が昭和 56 年 6 月以降の建物も「旧耐震基準」となっている。

※作図プログラムにより、面積は万㎡、比率は整数となっている。また、図中の「築年数別（10 年ごと）の床面積・比率」の合計数値と「築年数別（築 30 年以上、築 20 年以上）の床面積・比率」は、計算上の理由から必ずしも一致しない。

図：学校施設等の築年別整備状況

### (3) 学校施設の配置状況

学校施設は、伊集院地域に8校（小学校5校、中学校3校）、東市来地域は7校（小学校5校、中学校2校）、日吉地域は2校（小学校1校、中学校1校）、吹上地域は5校（小学校4校、中学校1校）が配置されています。

伊集院地域の児童・生徒の割合は6割程度で、地域別人口割合の5割より多くなっています。東市来地域、日吉地域、吹上地域は児童・生徒の割合が地域別人口割合より低くなっています。

表：地域別の学校施設配置状況

単位：人

地域	項目	人口	小学校	児童数	中学校	生徒数
東市来地域	実数	11,704	鶴丸小学校	173	東市来中学校	259
				6.5%		
			伊作田小学校	54		
	2.0%					
	比率	23.8%	湯田小学校	222		30
			8.4%			
美山小学校			45	2.3%		
1.7%						
			上市来小学校	46	上市来中学校	30
				1.7%		2.3%
伊集院地域	実数	24,593	伊集院小学校	864	伊集院中学校	494
				32.7%		
			飯牟礼小学校	60		37.8%
	2.3%					
	比率	49.9%	土橋小学校	38	土橋中学校	
			1.4%			
伊集院北小学校			132	伊集院北中学校	250	
5.0%						
		妙円寺小学校	518	19.1%		
			19.6%			
日吉地域	実数	4,918	日吉小学校 (日吉学園)	166	日吉中学校 (日吉学園)	106
	比率	10.0%		6.3%		8.1%
吹上地域	実数	8,034	永吉小学校	40	吹上中学校	158
				1.5%		
			伊作小学校	245		
	9.3%					
	比率	16.3%	花田小学校	33		
			1.2%			
和田小学校			9			
			0.3%			
合計	実数	49,249	-	2,645	-	1,308
	比率	100.0%		100.0%		100.0%

資料：人口は「平成27年度国勢調査」、児童・生徒数は「日置市資料（令和元年度時点）」

※日吉小学校は令和3年度に日吉中学校と統合し日吉学園となる



【凡例】	
<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>	小学校校区
<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>	中学校校区
<span style="color: red; font-size: 1em;">●</span>	小学校
<span style="color: blue; font-size: 1em;">●</span>	中学校
<span style="color: yellow; font-size: 1em;">●</span>	幼稚園 給食センター

## (4) 児童・生徒・園児数及び学級数の変化

### ① 児童・生徒・園児数及び学級数の推移

児童数は増減を繰り返していますが、2,600人台を維持しています。学級数も同様に140クラス台で増減しています。

学校別に児童数をみると、伊集院小学校と妙円寺小学校は増加、それ以外の小学校は横ばい、もしくは減少しています。

表：児童数・学級数の推移

単位：人、クラス

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
鶴丸 小学校	児童数	174	164	167	182	179	182	163	180	173	173
	学級数	7	7	8	8	8	9	8	8	8	8
伊作田 小学校	児童数	66	57	57	54	65	61	67	62	60	54
	学級数	6	6	5	5	6	6	6	6	7	7
湯田 小学校	児童数	250	244	248	250	250	225	237	232	226	222
	学級数	11	11	11	10	10	9	10	10	10	11
上市来 小学校	児童数	63	63	64	60	56	50	52	46	49	46
	学級数	6	6	6	6	7	7	6	5	5	5
美山 小学校	児童数	44	44	46	47	44	41	42	42	45	45
	学級数	4	4	6	6	6	5	5	6	6	6
伊集院 小学校	児童数	714	732	758	763	813	861	850	852	876	864
	学級数	24	24	27	29	32	31	29	31	31	31
飯牟礼 小学校	児童数	70	75	66	67	70	67	61	62	70	60
	学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	7	7
土橋 小学校	児童数	60	57	54	54	48	45	40	40	44	38
	学級数	6	6	6	6	5	5	4	5	5	5
伊集院北 小学校	児童数	160	149	140	132	126	123	114	122	119	132
	学級数	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8
妙円寺 小学校	児童数	429	418	408	393	416	436	448	476	472	518
	学級数	16	16	14	14	14	17	19	21	22	22
日吉 小学校 (日吉学園)	児童数	257	248	243	230	205	206	201	185	179	166
	学級数	26	26	25	24	21	22	20	18	8	8
永吉 小学校	児童数	50	48	47	45	42	47	46	46	41	40
	学級数	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5
伊作 小学校	児童数	298	275	255	244	236	253	248	253	252	245
	学級数	13	11	12	12	11	11	11	12	12	12
花田 小学校	児童数	30	34	36	32	35	35	38	34	33	33
	学級数	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4
和田 小学校	児童数	22	22	17	17	19	19	17	13	15	9
	学級数	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3
合計	児童数	2,687	2,630	2,606	2,570	2,604	2,651	2,624	2,645	2,654	2,645
	学級数	145	142	146	145	147	148	144	148	141	142

資料：日置市資料

※日吉小学校の平成22年～平成27年の数値は「旧日置小学校」「旧住吉小学校」「旧日新小学校」「旧吉利小学校」「旧扇尾小学校」の数値を合算。

また、平成28～平成29年の数値は「旧日置小学校」「旧住吉小学校」「旧日新小学校」「旧吉利小学校」の数値を合算。

※学級数は通常学級数及び特別支援学級数の合計値

生徒数は 10 年間で 1 割程度減少しています。学級数は 50 クラス台で増減していません。

学校別に生徒数をみると、伊集院中学校は増加、それ以外の中学校は減少しています。

表：生徒数・学級数の推移

単位：人、クラス

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
東市来 中学校	生徒数	296	284	286	259	262	279	285	257	257	259
	学級数	10	10	11	10	10	9	10	10	10	9
上市来 中学校	生徒数	46	36	36	33	35	37	31	30	25	30
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5
伊集院 中学校	生徒数	359	385	397	427	431	436	420	442	460	494
	学級数	13	14	14	14	13	14	14	14	14	16
伊集院北 中学校	生徒数	386	371	342	330	326	309	295	262	262	250
	学級数	12	11	10	10	11	11	11	9	10	9
土橋 中学校	生徒数	35	32	30	30	32	34	36	32	23	11
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
日吉中学校 (日吉学園)	生徒数	146	146	146	145	133	122	117	108	108	106
	学級数	7	7	7	7	7	6	5	4	4	4
吹上 中学校	生徒数	200	202	202	202	205	169	168	158	168	158
	学級数	7	8	8	8	7	6	6	6	7	7
合計	生徒数	1,468	1,456	1,439	1,426	1,424	1,386	1,352	1,289	1,303	1,308
	学級数	55	56	56	55	54	52	52	49	51	53

資料：日置市資料

※学級数は通常学級数及び特別支援学級数の合計値

園児数は 10 年間で 4 割減少しています。学級数に変化はありません。

幼稚園別に園児数をみると、すべての幼稚園が減少しています。特に、日吉小学校付属幼稚園は 10 年間で 8 割減少しています。

表：園児数・学級数の推移

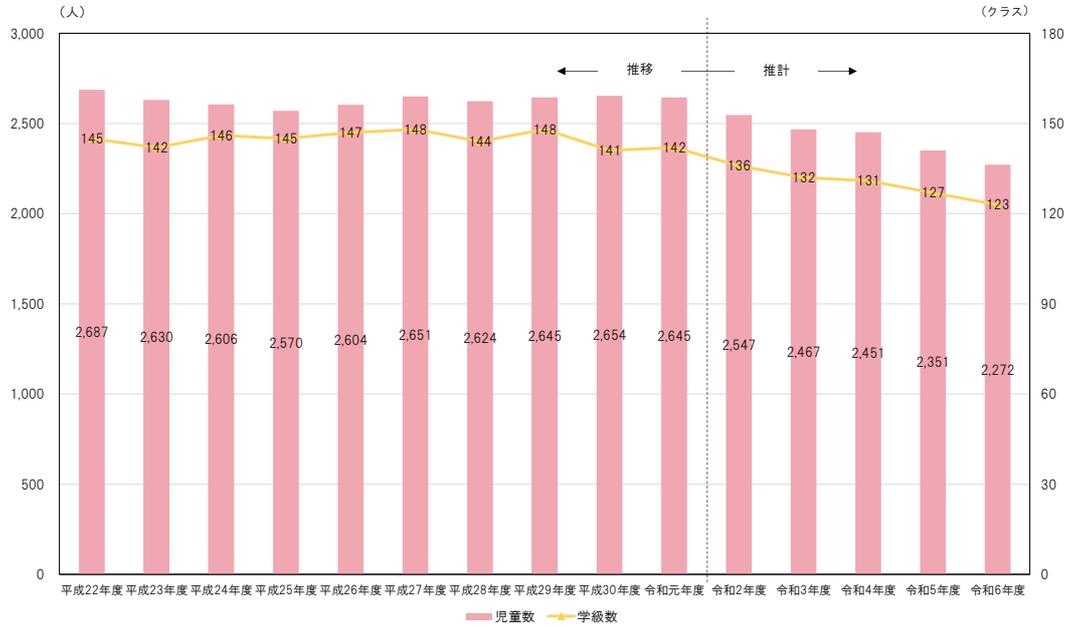
単位：人、クラス

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
東市来 幼稚園	園児数	49	49	50	45	43	50	45	37	43	38
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
飯牟礼 幼稚園	園児数	17	26	22	22	21	17	16	17	14	12
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
土橋 幼稚園	園児数	19	19	15	23	19	15	19	15	10	5
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
日置市立 日吉小学校 付属幼稚園	園児数	20	16	17	16	11	10	7	2	5	4
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	園児数	105	110	104	106	94	92	87	71	72	59
	学級数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

資料：日置市資料

## ② 児童・生徒数の推計

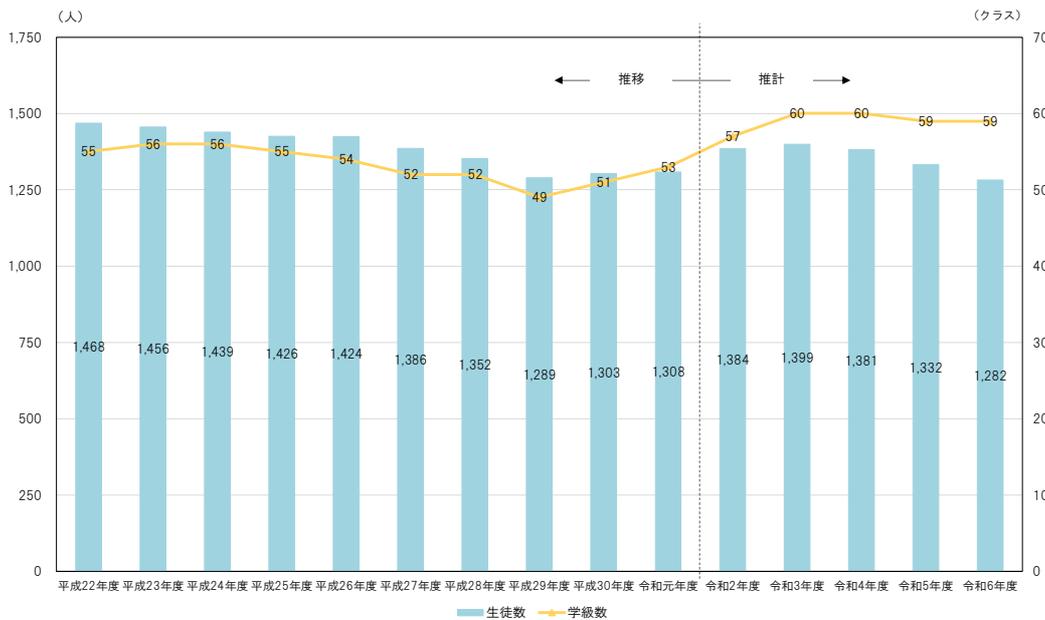
令和元年度まで 2.6 千人台前後を推移していた児童数は、今後急激に減少すると推測されます。



図：児童数・学級数の推移・推計

資料：日置市資料

令和元年度まで減少していた生徒数は、令和3年度まで増加し、その後再び減少すると推測されます。

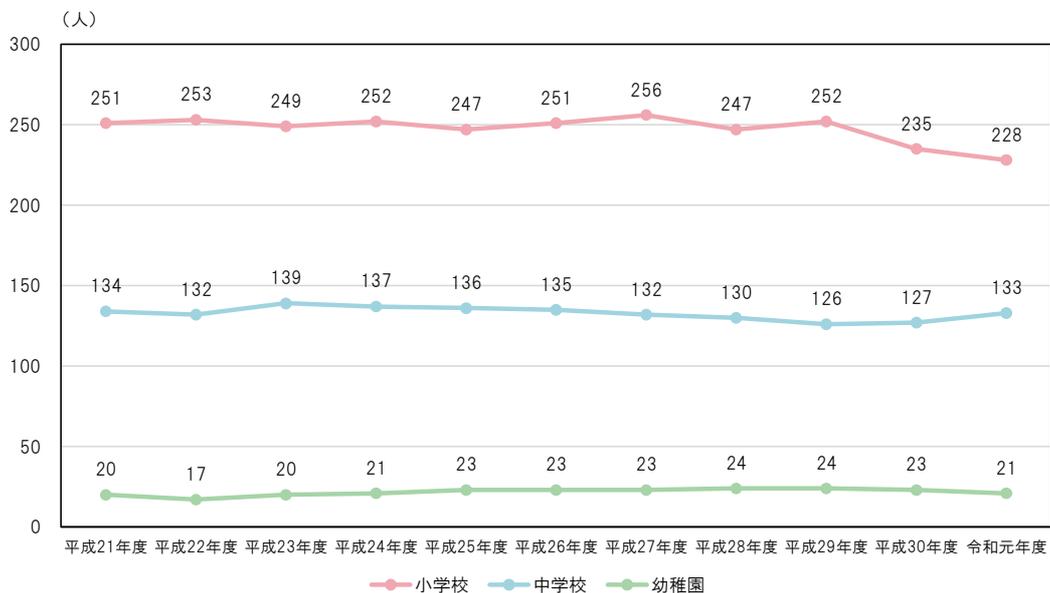


図：生徒数・学級数の推移・推計

資料：日置市資料

## (5) 職員数の推移

職員数の推移をみると、小学校は平成29年度まで250人程度でしたが平成30年度以降減少、中学校は130人前後を増減、幼稚園は20人前後を増減しています。



図：職員数の推移

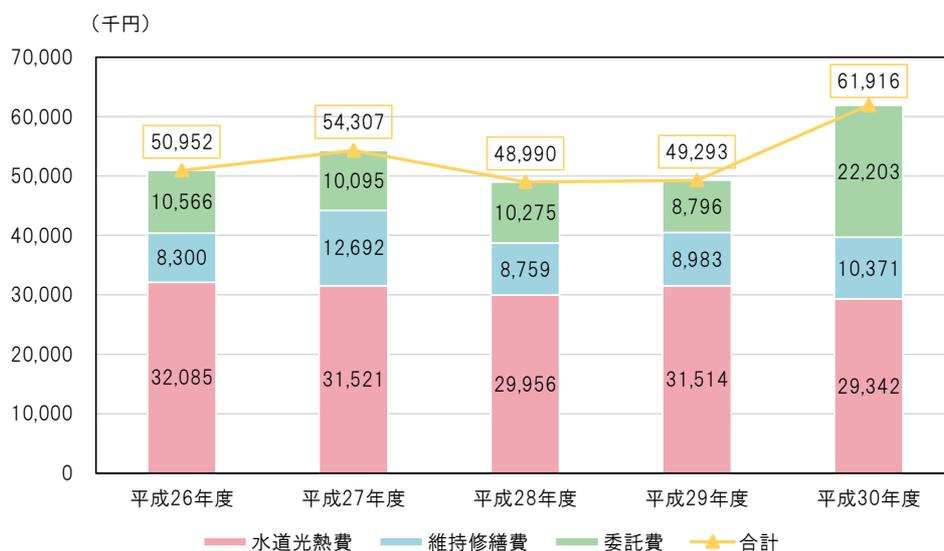
資料：日置市資料

## (6) 維持管理コスト

### ① 管理費（水道光熱費、維持修繕費、委託費）の推移

小学校の年間管理費の平均は 5.3 千万円です。

管理費の推移をみると、平成 29 年度までは 5 千万円程度でしたが、平成 30 年度は 6.2 千万円になっています。これは委託費が 2 倍以上になったことによるものです。

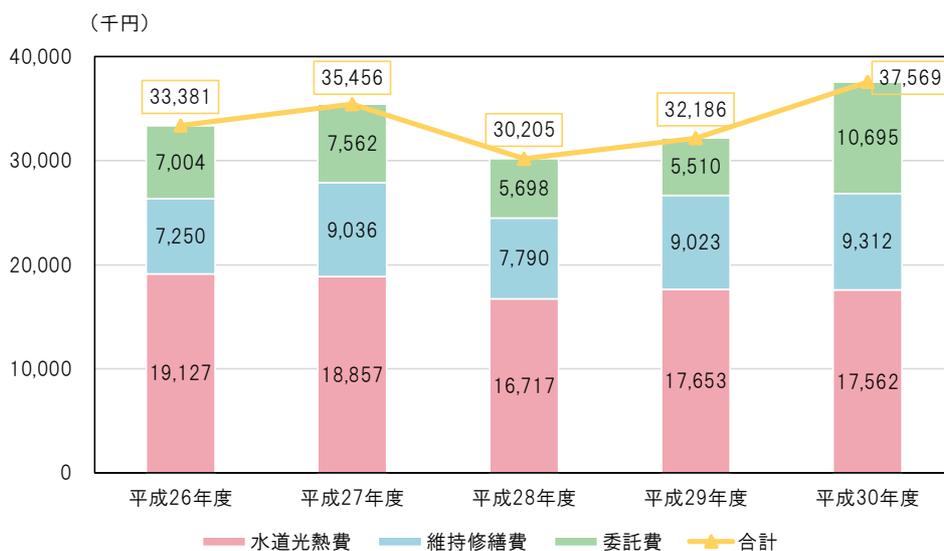


図：小学校の管理費の推移

資料：日置市資料

中学校の年間管理費の平均は 3.4 千万円です。

管理費の推移をみると、平成 29 年度までは 3 千万円前半を推移していましたが、平成 30 年度は 3.8 千万円になっています。これは小学校と同様に委託費の上昇によるものです。

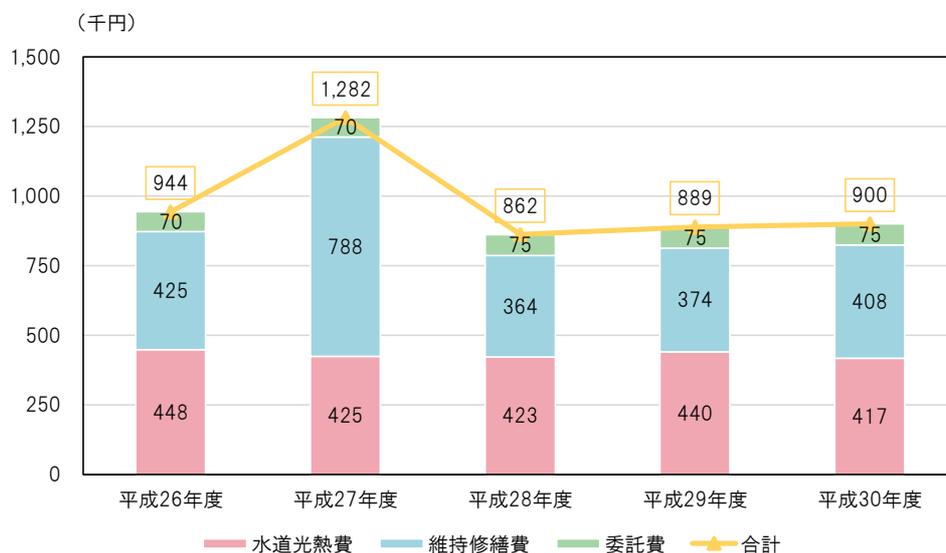


図：中学校の管理費の推移

資料：日置市資料

幼稚園の年間管理費の平均は1百万円程度です。

管理費の推移をみると、平成27年度に維持修繕費の増加により130万円になりましたが、それ以外の年度は90万円程度です。

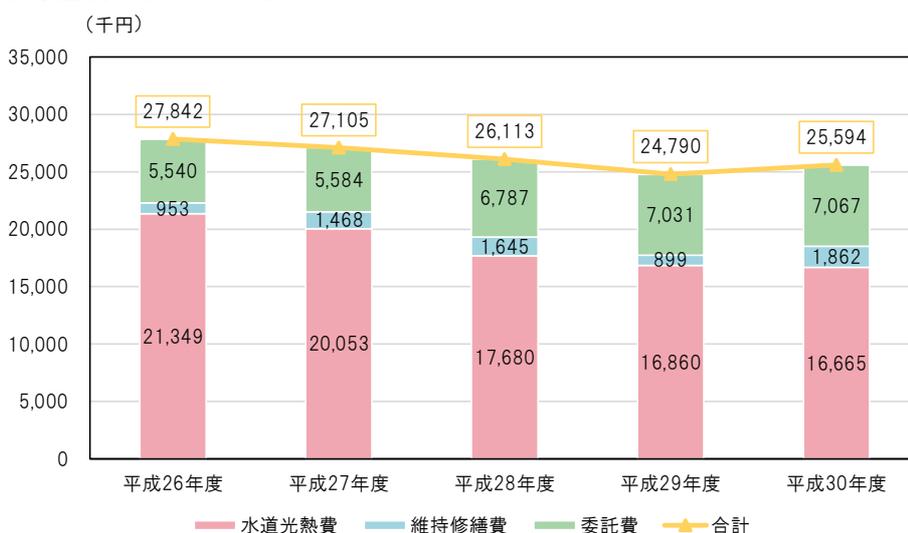


図：幼稚園の管理費の推移

資料：日置市資料

給食センターの年間管理費の平均は2.6千万円です。

管理費の推移をみると、水道光熱費の減少に伴い年々減少しています。水道光熱費は500万円程度減少しています。



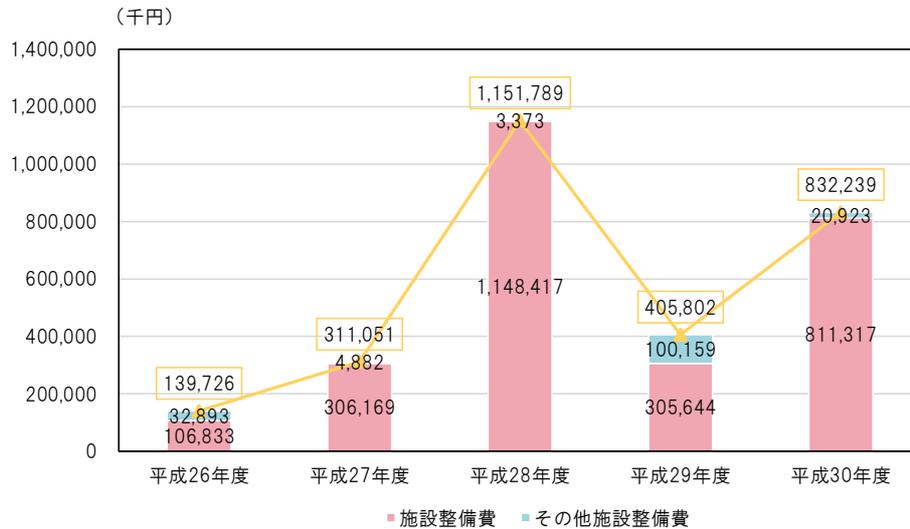
図：給食センターの管理費の推移

資料：日置市資料

## ② 工事費の推移

小学校の年間工事費の平均は 5.7 億円です。

工事費の推移をみると、平成 28 年度と平成 30 年度が高くなっています。平成 28 年度は伊作小学校の校舎等の改築工事、平成 30 年度は伊集院北小学校の校舎等の改築工事によるものです。

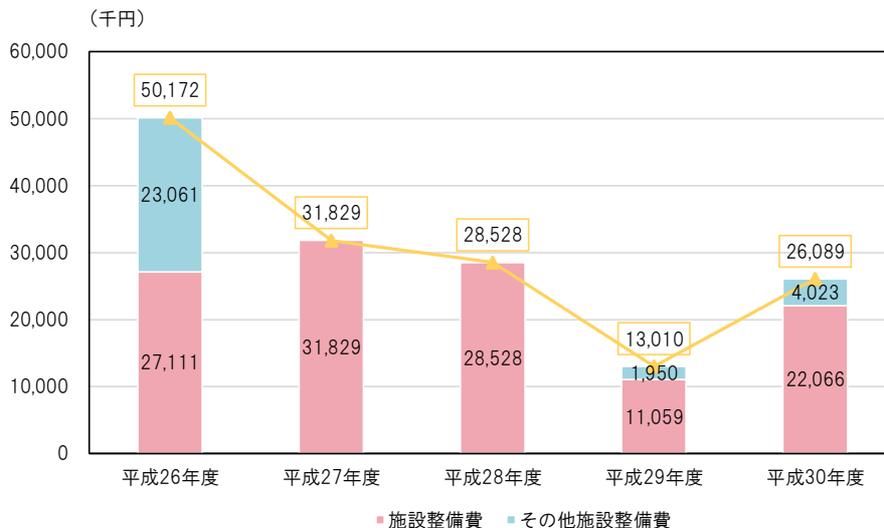


図：小学校の工事費の推移

資料：日置市資料

中学校の年間工事費の平均は 3 千万円です。

工事費の推移をみると、平成 26 年度が他の年度と比べ高くなっています。これは、土橋中学校のグラウンド整備工事や伊集院中学校のプールろ過機設置配管工事等によるものです。

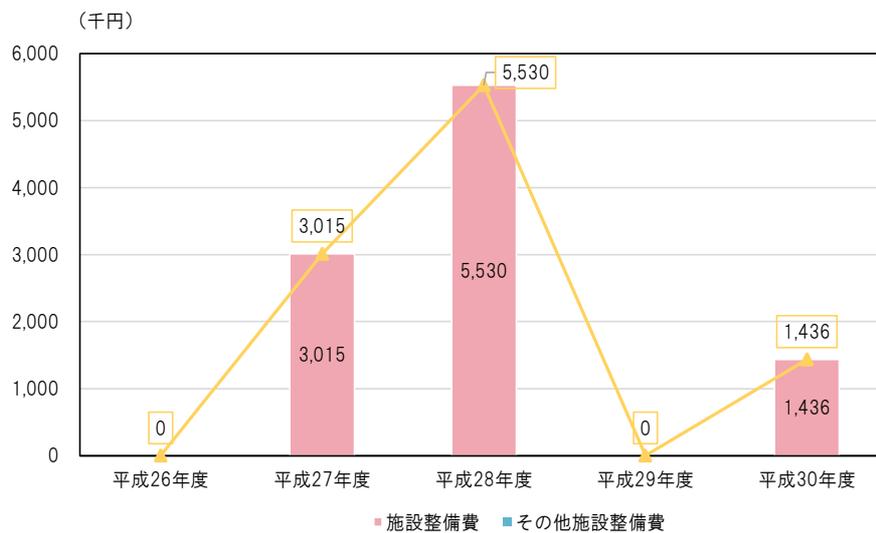


図：中学校の工事費の推移

資料：日置市資料

幼稚園は、平成 26 年度から平成 30 年度の 5 年間工事を行っていません。

給食センターの年間工事費の平均は 2 百万円で、施設整備のみ行われています。



図：給食センターの工事費の推移

資料：日置市資料

### 3 学校施設等の老朽化状況

#### (1) 老朽化状況の把握

##### ① 老朽化状況の評価手法

建物の老朽化状況を把握するため、学校施設台帳の建物情報を基に、劣化状況調査や耐震診断結果、改善履歴等より健全度を評価しました。

下記の劣化状況調査票を基に、現地で「屋根・屋上」、「外壁」について老朽化の確認と写真撮影を行い、評価を行いました。また、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」については、改善履歴からの経過年数等により評価を行いました。これら5つの部位の評価を基に建物の健全度として点数化しました。

【劣化状況調査票】

通し番号			学校名	学校番号	調査日		
建物名					記入者		
棟番号			建築年度	年度( 年度)			
構造種別	延床面積	m	階数	地上	地下	階	

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 ( ) <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
3 内部	内部劣化箇所②			内部劣化箇所③			
部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)				評価
4 内部仕上 (床・壁・天井 (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修						
	<input type="checkbox"/> エコ改修						
	<input type="checkbox"/> トイレ改修						
	<input type="checkbox"/> 法令適合						
	<input type="checkbox"/> 校内LAN						
	<input type="checkbox"/> 空調設置						
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策 <input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事						
5 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修						
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事						
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検						
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事						
6 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修						
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修						
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検						
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事						
7 設備情報	トイレのドライ化	太陽光発電	エレベーター	点字ブロック	スロープ		
	木質化	屋上緑化	多目的トイレ	手すり			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	0 / 100点

## 【評価基準：屋根・屋上】

Dの4段階で評価する。 良好

劣化

仕様	A	B	C	D
アスファルト 保護防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
アスファルト 露出防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ふくれ、変質(摩耗)、排水不良がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
シート 防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。	 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
塗膜防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的にふくれ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある。	 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
金属板 (長尺、折板、平葺き)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金物のさびがある。	 広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、取付金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。

### 点検項目

- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ✓ 防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開き等がないか。
- ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食等がないか。
- ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。

### 点検の留意点

- ✓ ルーフドレイン(屋上排水口)や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂等が溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜まりができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
- ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
- ✓ パラペット立上り部分の防水端部で、剥がれ等がないか確認する。
- ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
- ✓ 1箇所の劣化事象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
- ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
- ✓ 現状として、降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済でも、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(文部科学省)

## 【評価基準：外壁】

の4段階で評価する。 良好

劣化

評価仕様	A	B	C	D
塗り仕上げ	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび汁がある。	 広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・剥がれ・さび汁があり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
タイル張り 石張り	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
金属系パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
セメント系パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ・変質・欠損・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
窓 (サッシ)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。	 全体的に、変形・変質・さび・シーリングの硬化・ひび割れが見られる。	 全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。

### 点検項目

- ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
- ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れ塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができていないか。
- ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材等の仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損等がないか。
- ✓ 建具枠、蝶番等の腐食、変形、ぐらつき等がないか。
- ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れ等がないか。
- ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。

### 点検の留意点

- ✓ 目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食等がないかを確認する。
- ✓ 外壁のタイル、モルタル等に剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
- ✓ スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。
- ✓ 現状として降雨時に複数個所で雨漏りしている場合を D 評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね 10 箇所以上を D 評価とする。
- ✓ 鉄筋の露出は、概ね 5 箇所以上を D 評価とする。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備】

	該当する部位	CまたはDの事象(例)
内部仕上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 床、壁、天井</li> <li>● 内部開口部(扉、窓、防火戸)</li> <li>● 室内表示、手すり、固定家具など</li> <li>● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・特定の教室のみの改修 ・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事</li> <li>● 広範囲(25%以上の面積)または随所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることを目安とする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>床仕上げの剥がれ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>床のひび割れ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天井材の落下・剥がれ</p> </div> </div>
電気設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱電設備)</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;">             受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・受変電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新 (評価例) ・視聴覚室やコンピューター室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価</li> </ul>
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin-top: 5px;">             受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・部分的な修繕等 (評価例) ・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価 ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価</li> </ul>

点検項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボート類の浮きや損傷等がないか。</li> <li>✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれ等により安全性が損なわれているところがないか。</li> <li>✓ 設備機器においては、機器や架台に錆・損傷・腐食等がないか。</li> <li>✓ 設備機器に漏水・漏油等がないか。</li> <li>✓ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。</li> <li>✓ 機器から異音はしていないか。</li> <li>✓ 保守点検や消防の査察等で是正措置等の指摘がないか。</li> </ul>
点検の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食等がないかを確認する。</li> <li>✓ 受変電設備等の高圧機器は、フェンスの外から目視により確認する。</li> <li>✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。</li> <li>✓ 目視で評価する場合、複数台あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。</li> </ul>

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価指標】

		目視による評価 (屋根・屋上、外壁)	経過年数による評価 (内部仕上、電気設備、機械設備)
		基準	基準
良好  劣化	A	おおむね良好	20年未満
	B	部分的に劣化 (安全上・機能上：問題なし)	20～40年
	C	広範囲に劣化 (安全上・機能上：不具合発生の兆し)	40年以上
	D	早急に対応する必要がある	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある

【健全度の算定】

建物の健全度は、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」の5つの部位の劣化状況を「A」から「D」の4段階で評価し、部位ごとにコスト配分を行い、100点満点で数値化した評価指標です。数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

表：部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

表：部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

計算例：総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 60（コスト配分合計）

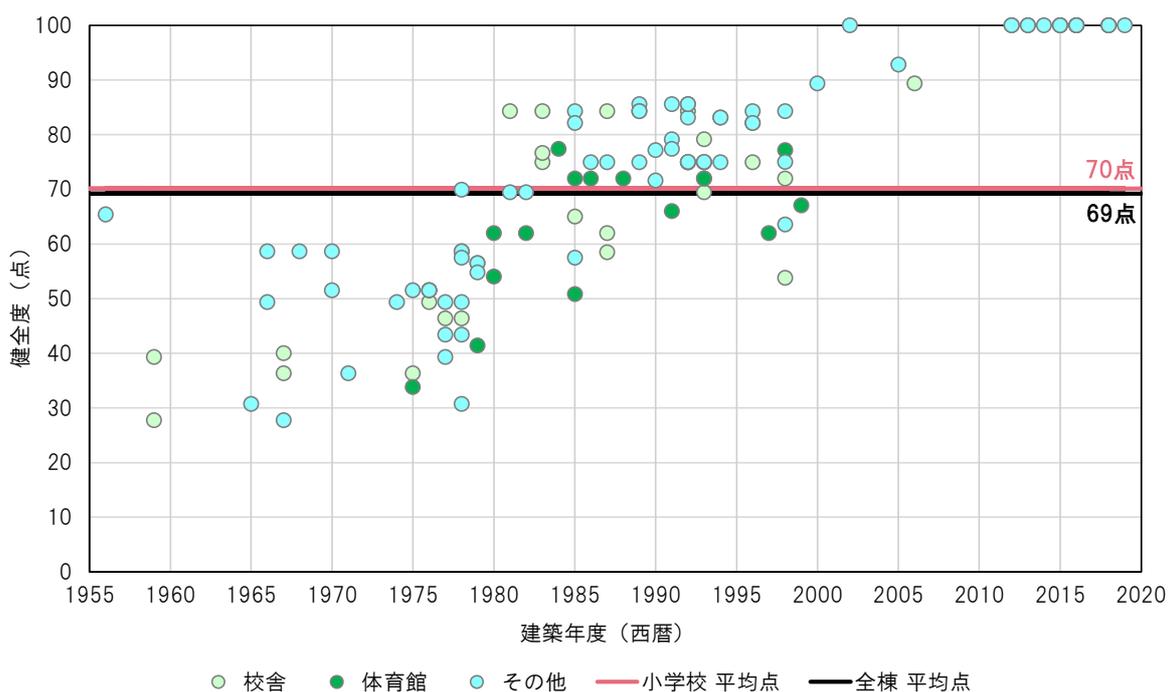
部位	評価		評価点例		コスト配分	=	配分評価点	
屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204	
外壁	D	→	10	×	17.2	=	172	
内部仕上	B	→	75	×	22.4	=	1,680	
電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800	
機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292	
計								3,148
								÷60
健全度								52

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

## ② 小学校の老朽化状況

小学校の建物健全度の平均は70点で、学校施設等全体の平均69点より若干高くなっています。大規模改修工事等を行っている建物がほとんどないため、建築年度が古いほど健全度が低くなっています。

用途別では、「校舎」は69点、「その他」は73点で平均以上です。「体育館」は62点で平均点より7点低くなっており、屋根・屋上や外壁の劣化が多く見られます。



図：小学校の老朽化状況

【劣化状況評価（小学校）】

  : 築50年以上   
   : 築30年以上   
 A : 概ね良好   
 C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化   
D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
								基準	診断	補強						
鶴丸小学校	倉庫	10	W	1	15	1987	33	新	-	-	B	B	B	B	-	75
	管理教室棟	14	RC	2	1,298	1976	44	旧	済	-	B	B	C	C	D	49
	WC	15	RC	2	88	1976	44	旧	済	-	A	B	C	C	D	52
	教室棟	16	RC	2	570	1979	41	旧	済	-	B	A	C	C	D	57
	WC	17	RC	2	61	1979	41	旧	済	-	B	A	C	C	D	57
	楽焼釜室	18	S	1	4	1979	41	旧	-	-	B	B	C	C	-	55
	屋内運動場	19-1	RC	1	695	1980	40	旧	済	-	A	C	C	B	B	54
	倉庫	19-2	S	1	50	1991	29	新	-	-	A	C	B	B	-	66
	プール付属室	20	S	1	56	1981	39	新	-	-	D	B	B	B	B	70
	給食保管室	26	S	1	17	1989	31	新	-	-	A	A	B	B	-	86
教室棟	27	RC	2	469	1992	28	新	-	-	A	A	B	B	B	84	
伊作田小学校	教室棟	17	RC	2	927	1975	45	旧	済	-	C	C	C	C	D	36
	WC	18	RC	2	69	1975	45	旧	済	-	A	B	C	C	D	52
	屋内運動場	19	RC	2	767	1976	44	旧	済	済	A	B	C	C	D	52
	プール付属室	20	S	1	56	1978	42	旧	-	-	B	D	C	C	D	31
	倉庫	22	S	1	13	1978	42	旧	-	-	B	C	C	C	-	43
	特別教室棟	25	RC	2	1,000	1987	33	新	-	-	A	D	B	B	B	59
	給食保管室	26	S	1	15	1989	31	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	放送	27	W	1	5	1992	28	新	-	-	B	A	B	B	-	83
	生活科室・伊作田郷土館	28	RC	1	181	1976	44	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
倉庫	29	W	1	102	1996	24	新	-	-	A	A	B	B	B	84	
湯田小学校	教室棟	7	RC	3	2,976	1998	22	新	-	-	C	B	B	B	B	72
	屋内運動場	17	RC	2	1,000	1993	27	新	-	-	C	B	B	B	B	72
	プール付属室	19	RC	1	70	1994	26	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	倉庫	21	W	1	99	2000	20	新	-	-	B	B	A	A	-	89
	教室棟	24	RC	3	245	2006	14	新	-	-	B	B	A	A	-	89
上市来小学校	教室棟	1-1	RC	2	432	1959	61	旧	済	-	B	C	C	C	D	39
	教室棟	1-2	RC	2	229	1959	61	旧	済	-	C	D	C	C	D	28
	倉庫	12	W	1	20	1956	64	旧	-	-	A	A	C	C	-	65
	プール付属室	13	S	1	56	1977	43	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	屋内運動場	14	RC	1	695	1979	41	旧	済	-	A	C	C	C	D	41
	管理棟	16-1	RC	2	1,245	1985	35	新	-	-	B	C	B	B	B	65
	給食保管室	16-2	S	1	15	1989	31	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	WC	17	S	1	26	1985	35	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	倉庫	19	W	1	14	1991	29	新	-	-	A	A	B	B	-	86
	資料	20	W	1	39	1992	28	新	-	-	A	A	B	B	-	86
資料室	21	S	1	149	1971	49	旧	-	-	C	C	C	C	D	36	

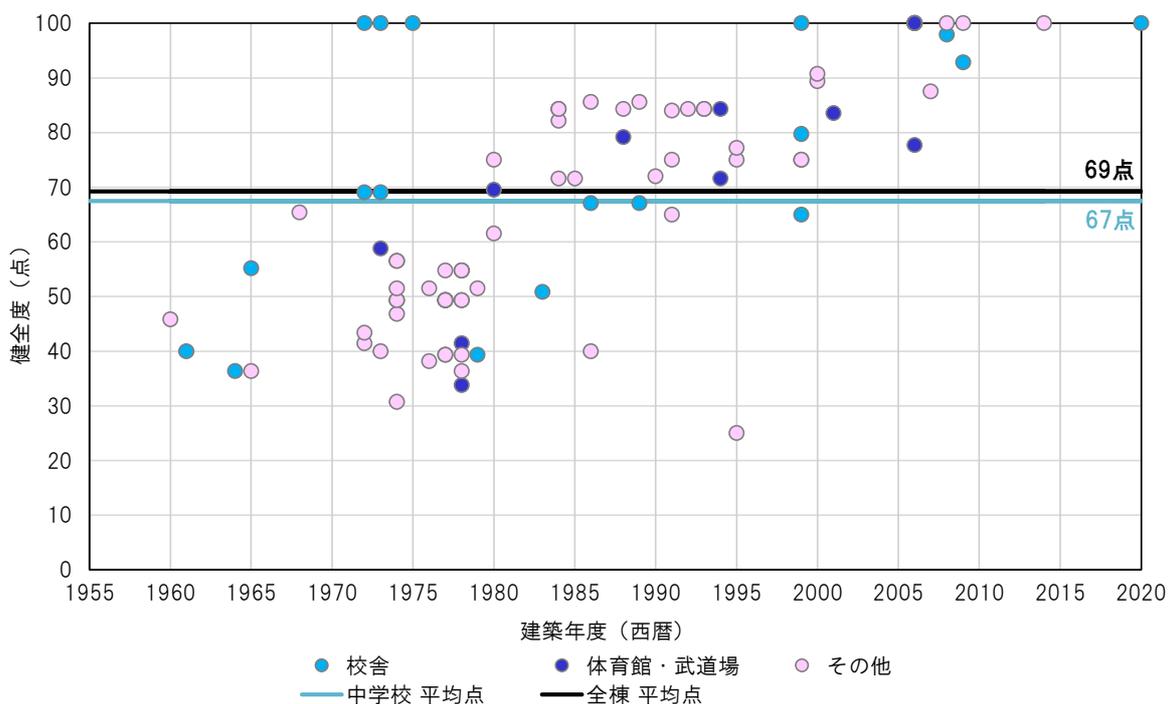
建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
								基準	診断	補強						
美山小学校	教室棟	6-1	RC	2	802	1977	43	旧	済	-	C	B	C	C	D	46
	教室棟	6-2	RC	2	572	1978	42	旧	済	-	A	A	C	C	D	59
	WC	7	S	1	13	1978	42	旧	-	-	A	A	C	C	D	59
	倉庫	8	S	1	13	1978	42	旧	-	-	A	A	C	-	-	70
	倉庫	9	W	1	19	1998	22	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	プール付属室	10	S	1	52	1982	38	新	-	-	D	B	B	B	B	70
	屋内運動場	11	RC	2	695	1988	32	新	-	-	C	B	B	B	B	72
	給食保管室	12	S	1	11	1989	31	新	-	-	B	B	B	B	B	75
倉庫・飼育舎	16	W	1	60	2002	18	新	-	-	A	A	A	A	A	100	
伊集院小学校	WC	11	W	1	17	1966	54	旧	-	-	A	A	C	C	D	59
	進級指導室	17	RC	2	396	1981	39	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	屋内運動場	21	RC	1	1,000	1985	35	新	-	-	D	D	B	B	B	51
	集いの木の家	23	W	2	352	1987	33	新	-	-	C	C	B	B	B	62
	プール付属室	25	RC	1	98	1991	29	新	-	-	C	A	B	B	B	79
	普通教室棟	29	RC	4	3,288	2012	8	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	農具倉庫	30	S	1	15	2012	8	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	管理・教室棟	32	RC	3	3,318	2013	7	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	倉庫	33	S	1	66	2013	7	新	-	-	A	A	A	A	-	100
リサイクル倉庫	34	W	1	10	2014	6	新	-	-	A	A	A	-	-	100	
飯牟礼小学校	教室棟	1	S	1	232	1967	53	旧	済	済	C	C	C	C	-	40
	特活	4	S	1	41	1967	53	旧	-	-	C	D	C	C	D	28
	倉庫	5	W	1	20	1965	55	旧	-	-	B	D	C	C	D	31
	特別教室棟	6	S	1	162	1967	53	旧	-	-	C	C	C	C	D	36
	管理教室棟	11	RC	2	1,106	1983	37	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	屋内運動場	12	RC	1	700	1985	35	新	-	-	C	B	B	B	B	72
	コンテナ室	13	S	1	12	1990	30	新	-	-	C	B	B	B	-	72
	WC	17	RC	1	18	2005	15	新	-	-	A	B	A	A	A	93
プール付属室(更衣)	18	W	1	10	2015	5	新	-	-	A	A	A	A	-	100	
土橋小学校	プール付属室(機械)	9	S	1	13	1968	52	旧	-	-	A	A	C	C	D	59
	校舎	17	RC	2	1,659	1996	24	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	屋内運動場	18	RC	1	717	1997	23	新	-	-	C	C	B	B	B	62
	プール付属室(更衣)	19	W	1	18	2015	5	新	-	-	A	A	A	A	-	100
伊集院北小学校	屋内運動場	12	RC	1	750	1986	34	新	-	-	C	B	B	B	B	72
	プール付属室	13	RC	1	60	1986	34	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	校舎	19	RC	2	1,934	2018	2	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	校舎	20	RC	2	1,060	2018	2	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	体育倉庫	21	W	1	32	2018	2	新	-	-	A	A	A	A	-	100
屋外便所	22	RC	1	36	2019	1	新	-	-	A	A	A	A	A	100	

建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
								基準	診断	補強						
妙円寺小学校	南校舎	1	RC	2	1,012	1983	37	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	北校舎	2	RC	3	1,534	1983	37	新	-	-	D	A	B	B	B	77
	屋内運動場	3	RC	1	701	1984	36	新	-	-	A	B	B	B	-	77
	プール付属室	4	RC	1	84	1985	35	新	-	-	B	A	B	B	B	82
	南校舎	7	RC	2	436	1987	33	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	北校舎	10	RC	3	886	1993	27	新	-	-	D	B	B	B	B	70
	倉庫	13	S	1	18	1985	35	新	-	-	C	C	B	-	-	58
	西校舎	14	S	1	164	1998	22	新	-	-	B	D	B	B	-	54
	体育倉庫	15	S	1	82	1998	22	新	-	-	B	C	B	B	-	64
	屋内運動場	16	RC	1	260	1998	22	新	-	-	A	B	B	B	B	77
永吉小学校	プール付属室(WC)	12	S	1	8	1970	50	旧	-	-	A	A	C	C	D	59
	プール付属室(機械)	13	S	1	7	1970	50	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	校舎	14	RC	3	1,516	1978	42	旧	済	-	C	B	C	C	D	46
	校舎	14-2	RC	1	86	1992	28	新	-	-	-	B	B	B	B	75
	校舎	14-3	RC	3	214	1996	24	新	-	-	B	A	B	B	B	82
	WC	14-4	RC	1	8	1996	24	新	-	-	B	A	B	B	B	82
	給食コンテナ室	17	RC	1	88	1990	30	新	-	-	A	B	B	B	B	77
	プール付属室(更衣)	18	S	1	15	1991	29	新	-	-	A	B	B	B	-	77
	倉庫	19	S	1	25	1992	28	新	-	-	B	B	B	-	-	75
	倉庫	20	S	1	19	1998	22	新	-	-	B	B	B	-	-	75
	屋内運動場	21	RC	1	669	1999	21	新	-	-	A	C	B	B	B	67
伊作小学校	プール付属室(WC)	7	W	1	8	1966	54	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	屋内運動場(体育館)	10	RC	1	579	1975	45	旧	済	済	D	C	C	C	D	34
	プール付属室(機械)	13	S	1	9	1974	46	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	プール付属室(更衣)	16	S	1	15	1992	28	新	-	-	A	A	B	B	-	86
	ブローワー庫	21	RC	1	10	2015	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	屋外便所	22	RC	1	35	2016	4	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	倉庫	23	W	1	24	2016	4	新	-	-	A	A	A	-	-	100
	体育倉庫	24	W	1	33	2016	4	新	-	-	A	A	A	A	A	100
校舎	25	RC	4	4,110	2016	4	新	-	-	A	A	A	A	A	100	
花田小学校	プール付属室(更衣)	9	S	1	8	1977	43	旧	-	-	B	C	C	C	-	43
	プール付属室(機械)	10	S	1	9	1977	43	旧	-	-	B	C	C	C	D	39
	屋内運動場	13	RC	1	532	1982	38	新	-	-	C	C	B	B	B	62
	教室棟	17	RC	3	1,382	1992	28	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	教室棟	18	RC	2	434	1992	28	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	倉庫	19	S	1	13	1993	27	新	-	-	B	B	B	-	-	75
和田小学校	プール付属室(機械)	10	S	1	4	1978	42	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	プール付属室(倉庫)	11	S	1	9	1978	42	旧	-	-	B	B	C	-	-	57
	屋内運動場	12	RC	1	532	1980	40	旧	済	済	C	C	B	B	B	62
	校舎	16-1	W	2	416	1993	27	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	校舎	16-2	RC	2	602	1993	27	新	-	-	C	A	B	B	B	79
	校舎	16-3	W	2	416	1993	27	新	-	-	C	B	B	B	B	72
	校舎	16-4	W	2	209	1993	27	新	-	-	B	B	B	B	-	75
	倉庫	20	S	1	26	1994	26	新	-	-	B	A	B	B	-	83
プール付属室(更衣)	21	S	1	15	1994	26	新	-	-	B	A	B	B	-	83	

### ③ 中学校の老朽化状況

中学校の建物健全度の平均点は67点で、学校施設等全体の平均点69点より低くなっています。基本的に建築年度が古いほど健全度が低くなっていますが、大規模改修工事を行った建物は健全度が高くなっています。

用途別では、「体育館・武道館」が78点で平均点より高くなっています。「体育館」は、比較的新しい建物が多く、健全度が高くなっています。「校舎」は68点、「その他」は64点で平均以下です。



図：中学校の老朽化状況

【劣化状況評価（中学校）】

  : 築50年以上      : 築30年以上  
A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
								基準	診断	補強						
東市来中学校	プール付属室(倉庫)	15	RC	1	19	1968	52	旧	-	-	A	A	C	C	-	65
	教室棟	20	RC	1	298	1965	55	旧	済	-	A	B	C	C	C	55
	教室棟	21	RC	3	1,107	1972	48	旧	済	-	A	A	A	A	A	100
	教室棟	23	RC	3	639	1973	47	旧	済	-	A	A	A	A	A	100
	倉庫	24	S	1	12	1973	47	旧	-	-	C	C	C	C	-	40
	教室棟	25	RC	3	1,510	1975	45	旧	済	-	A	A	A	A	A	100
	便所	26	S	1	33	1976	44	旧	-	-	B	B	D	C	D	38
	教室棟	30	RC	2	852	1986	34	新	-	-	A	C	B	B	B	67
	給食保管	32	RC	1	18	1989	31	新	-	-	A	A	B	B	-	86
	屋内運動場	33	RC	2	1,217	1994	26	新	-	-	C	B	B	B	-	72
	クラブハウス	33-1	RC	1	152	1994	26	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	倉庫	33-2	W	1	33	2001	19	新	-	-	C	B	A	-	-	84
	倉庫	37-1	W	1	53	2000	20	新	-	-	B	B	A	A	-	89
部室	37-2	W	1	99	2000	20	新	-	-	B	B	A	A	A	91	
上市来中学校	倉庫	16	W	1	33	1960	60	旧	-	-	A	C	C	C	-	46
	プール付属室	20	RC	1	79	1976	44	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	給食室・パソコン室	21	RC	1	90	1977	43	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	倉庫	22	W	1	4	1980	40	旧	-	-	B	C	B	-	-	62
	教室棟	26	RC	2	1,300	1983	37	新	-	-	D	D	B	B	B	51
	教室棟	26-1	RC	2	164	1999	21	新	-	-	C	A	B	B	-	80
	WC	27	W	1	4	1984	36	新	-	-	B	A	B	B	B	82
	倉庫	28	W	1	32	1993	27	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	屋内運動場	29	RC	1	931	2006	14	新	-	-	A	A	A	A	A	100
伊集院中学校	プール付属室(WC)	9	W	1	19	1974	46	旧	-	-	B	A	C	C	D	57
	プール付属室(機械)	10	S	1	11	1974	46	旧	-	-	B	D	C	C	D	31
	プール付属室(倉庫)	11	S	1	5	1974	46	旧	-	-	A	C	C	-	-	47
	プール付属室(更衣)	12	S	1	11	1974	46	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	プール付属室(更衣)	13	S	1	11	1974	46	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	部室	24	S	1	312	1990	30	新	-	-	C	B	B	B	B	72
	屋内運動場	27-1	RC	2	1,217	2006	14	新	-	-	C	C	A	A	A	78
	武道場(柔剣道場)	27-2	RC	2	680	2006	14	新	-	-	-	A	A	A	-	100
	トイレ・ミーティング室	27-3	RC	2	56	2006	14	新	-	-	-	A	A	A	A	100
	屋内消火栓ポンプ室	27-4	RC	2	9	2006	14	新	-	-	-	A	A	A	A	100
	部室	27-5	RC	2	16	2006	14	新	-	-	-	A	A	A	-	100
	屋外倉庫	27-6	RC	2	34	2006	14	新	-	-	A	A	A	-	-	100
	管理特別教室棟	28	RC	3	3,285	2008	12	新	-	-	B	A	A	A	A	98
	ガス庫	31	RC	1	15	2008	12	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	教室棟	32	RC	3	2,012	2009	11	新	-	-	A	B	A	A	A	93
農具庫	35	S	1	15	2009	11	新	-	-	A	A	A	A	A	100	

建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
								基準	診断	補強						
伊集院北中学校	プール付属室(WC)	14	S	1	19	1972	48	旧	-	-	A	C	C	C	D	41
	プール付属室(更衣)	15	S	1	23	1972	48	旧	-	-	B	C	C	C	-	43
	南校舎	16	RC	2	1,392	1974	46	旧	済	-	B	B	C	C	D	49
	WC	17	RC	1	46	1974	46	旧	-	-	B	A	C	C	D	57
	WC	18	W	1	17	1978	42	旧	-	-	B	C	C	C	D	39
	屋内運動場	19	RC	1	700	1978	42	旧	済	-	D	C	C	C	D	34
	WC	20	S	1	7	1980	40	旧	-	-	B	B	B	B	B	75
	更衣室	23-1	W	1	20	1984	36	新	-	-	C	B	B	B	-	72
	更衣室	23-2	W	1	20	1985	35	新	-	-	C	B	B	B	-	72
	控室	24	S	1	12	1986	34	新	-	-	A	A	B	B	-	86
	倉庫	25-1	W	1	20	1986	34	新	-	-	C	C	C	-	-	40
	倉庫	25-2	W	1	10	2007	13	新	-	-	B	B	A	-	-	88
	武道場	26	RC	1	641	1988	32	新	-	-	C	A	B	B	B	79
	北校舎	27	RC	2	1,412	1989	31	新	-	-	A	C	B	B	B	67
	部室	29	S	1	312	1991	29	新	-	-	B	C	B	B	B	65
	電気室	31	RC	1	5	1991	29	新	-	-	-	A	B	B	-	84
北校舎	33	RC	2	850	1999	21	新	-	-	B	C	B	B	B	65	
南校舎	34	RC	1	449	1999	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75	
給食コンテナ室	35	RC	1	31	1999	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75	
土橋中学校	特活(生徒会室)	3-2	W	1	66	1961	59	旧	-	-	C	C	C	C	-	40
	美術・技術室	3-3	W	1	140	1964	56	旧	-	-	C	C	C	C	D	36
	倉庫	8	W	1	33	1965	55	旧	-	-	C	C	C	C	D	36
	WC	9	RC	1	50	1979	41	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	教室棟	10	RC	2	1,221	1979	41	旧	済	-	B	C	C	C	D	39
	屋内運動場	11	RC	1	700	1980	40	旧	済	-	D	B	B	B	B	70
	プール付属室	14	RC	1	46	1984	36	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	ポンプ室	15	RC	1	2	1984	36	新	-	-	A	A	B	B	B	84
日吉中学校 (日吉学園)	校舎棟	1	RC	3	2,601	1972	48	旧	済	済	C	D	A	A	A	69
	給食室	1-2	S	1	33	1999	21	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	管理棟	2	RC	2	1,155	1973	47	旧	済	-	C	D	A	A	A	69
	屋内運動場	3	RC	2	953	1973	47	旧	済	済	C	C	A	C	D	59
	給食室便所	10	S	1	3	1991	29	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	ポンプ室	11	RC	1	8	1992	28	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	部室	13	RC	1	253	1995	25	新	-	-	B	B	B	B	B	75
	プール付属室(更衣室)	14	RC	1	130	1995	25	新	-	-	A	B	B	B	B	77
	プール付属室(スタンド)	15	RC	1	30	1995	25	新	-	-	D	D	C	-	-	25
	倉庫・自転車置場	18	S	1	25	2014	6	新	-	-	A	A	A	-	-	100
増築棟	-	RC	2	1,456	2020	0	新	-	-	A	A	A	A	A	100	

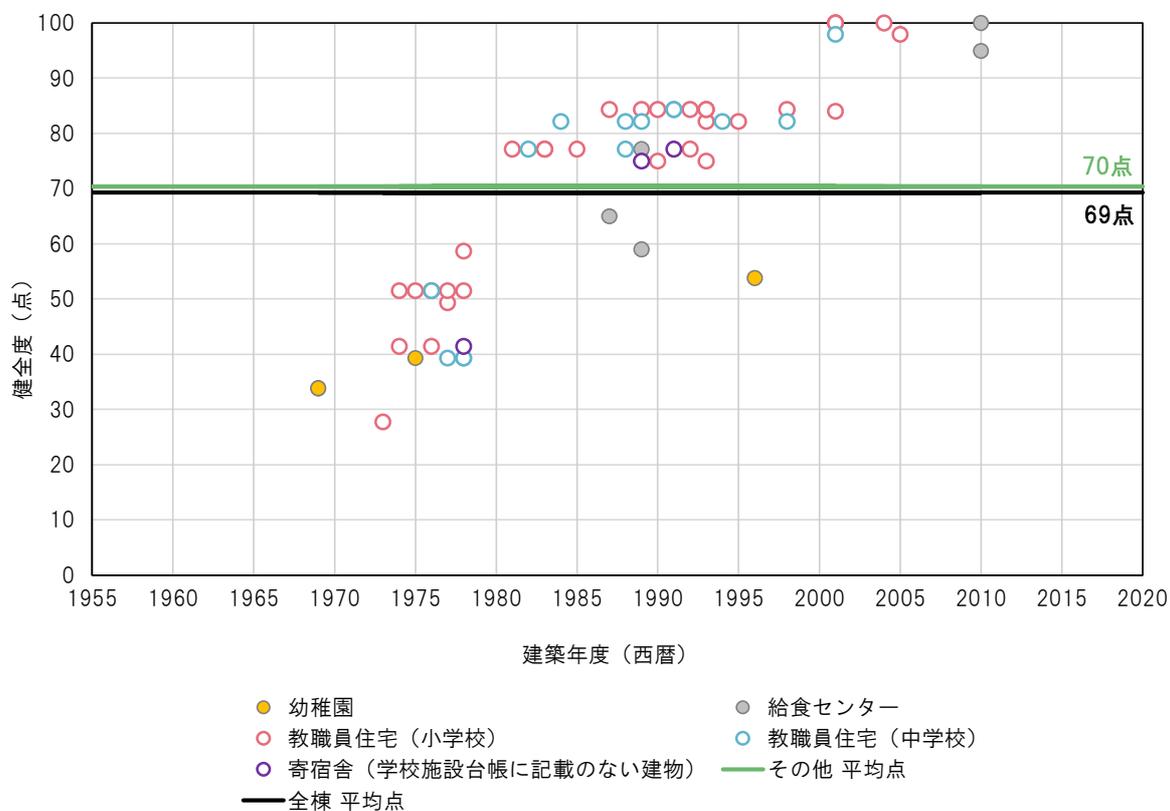
建物基本情報								構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
								基準	診断	補強						
吹上中学校	管理普通教室棟	1	RC	3	2,756	1977	43	旧	済	-	B	B	C	C	D	49
	WC	1-2	RC	1	7	1988	32	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	特別教室棟	2	RC	3	1,540	1977	43	旧	済	-	B	C	C	C	D	39
	渡廊下	3	RC	3	198	1977	43	旧	済	-	B	B	C	C	D	49
	給食室・コンテナ室	4	RC	1	132	1977	43	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	倉庫	5	S	1	120	1977	43	旧	-	-	B	B	C	C	-	55
	プール付属室(更衣)	6	S	1	42	1977	43	旧	-	-	B	C	C	C	D	39
	プール付属室(機械)	7	S	1	11	1977	43	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	屋内運動場	10	RC	1	1,040	1978	42	旧	済	-	A	C	C	C	D	41
	武道場(柔剣道場)	11	RC	2	350	1978	42	旧	済	-	B	B	C	C	D	49
	部室	12	S	1	18	1978	42	旧	-	-	C	C	C	C	D	36
	部室	13	S	1	9	1978	42	旧	-	-	B	B	C	C	-	55
	WC	14	S	1	12	1978	42	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	部室	15	S	1	36	1978	42	旧	-	-	B	B	C	C	-	55
	WC	20	RC	1	5	1993	27	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	教員住宅(車庫)	21	S	1	15	1978	42	旧	-	-	B	B	C	C	-	55

#### ④ 小中学校以外の老朽化状況

小中学校以外（幼稚園、給食センター、教職員住宅）の建物健全度の平均点は70点で、学校施設等全体の69点よりも高くなっています。大規模改修工事を行った建物がほとんどないため、建築年度が古いほど健全度が低くなっています。

用途別では、「給食センター」が79点、「教職員住宅（小学校、中学校、学校施設台帳に記載のない建物）」が72点で平均点より高くなっています。これらの建物は比較的新しい建物が多く、また築30年以上が経過している建物でも大きな劣化があまり見られないことから健全度が高くなっています。

「幼稚園」は40点で、すべての用途の中で最も低く、建築年度が古く、大規模改修工事も行われていません。



図：小中学校以外の老朽化状況

【劣化状況評価（幼稚園、給食センター、教職員住宅）】

  : 築50年以上   
   : 築30年以上   
   : 概ね良好   
   : 広範囲に劣化  
  : 部分的に劣化   
  : 早急に対応する必要がある

建物基本情報									構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	通し番号	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
									基準	診断	補強						
東市来幼稚園	274	園舎	2	RC	1	181	1975	45	旧	-	-	B	C	C	C	D	39
	275	倉庫	3	S	1	49	1996	24	新	-	-	B	D	B	B	-	54
飯牟礼幼稚園	276	園舎	1	S	1	170	1969	51	旧	-	-	D	C	C	C	D	34
土橋幼稚園	277	園舎	1	S	1	220	1969	51	旧	済	済	D	C	C	C	D	34
日置市立日吉小学校付属幼稚園	278	園舎	1	RC	1	203	1978	42	旧	済	-	A	C	C	C	D	41
日置市東市来学校給食センター	279	給食センター	1	RC	2	587	1989	31	新	-	-	D	B	B	B	B	70
	280	機械室	2	RC	1	11	1989	31	新	-	-	A	B	B	B	B	77
日置市立伊集院学校給食センター	281	給食センター	2	RC	2	630	1987	33	新	-	-	B	C	B	B	B	65
日置市立南学校給食センター	282	給食センター	1	RC	1	578	2010	10	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	283	機械室	2	RC	1	10	2010	10	新	-	-	C	A	A	A	A	95
鶴丸小学校	10	教員住宅(校長住宅)	24	W	1	75	1976	44	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	11	教員住宅(教頭住宅)	25	W	1	70	1983	37	新	-	-	A	B	B	B	B	77
伊作田小学校	19	教員住宅(校長住宅)	23	W	1	76	1978	42	旧	-	-	A	A	C	C	D	59
	20	教員住宅(教頭住宅)	24	W	1	70	1983	37	新	-	-	A	B	B	B	B	77
湯田小学校	30	教員住宅(教頭住宅)	23	W	2	84	2005	15	新	-	-	B	A	A	A	A	98
上市来小学校	34	教員住宅(校長住宅)	2	W	1	83	1998	22	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	41	教員住宅(教頭住宅)	18	W	1	70	1987	33	新	-	-	A	A	B	B	B	84
美山小学校	53	教員住宅(教頭住宅)	13	W	1	76	1990	30	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	54	教員住宅(校長住宅)	14	W	1	78	1992	28	新	-	-	A	A	B	B	B	84
伊集院小学校	58	教員住宅(教頭住宅)	19	W	1	63	1974	46	旧	-	-	A	C	C	C	D	41
	62	教員住宅(校長住宅)	26	W	1	82	1993	27	新	-	-	B	A	B	B	B	82
飯牟礼小学校	72	教員住宅(教頭住宅)	10	W	1	63	1973	47	旧	-	-	C	D	C	C	D	28
	76	教員住宅(校長住宅)	14	W	1	82	1992	28	新	-	-	A	B	B	B	B	77
土橋小学校	80	教員住宅(教頭住宅)	15	W	1	81	1981	39	新	-	-	A	B	B	B	B	77
	81	教員住宅(校長住宅)	16	W	1	82	1993	27	新	-	-	B	B	B	B	B	75
伊集院北小学校	85	教員住宅(教頭住宅)	11	W	1	81	1977	43	旧	-	-	B	B	C	C	D	49
	88	教員住宅(校長住宅)	14	W	1	82	1990	30	新	-	-	B	B	B	B	B	75
妙円寺小学校	97	教員住宅(校長住宅)	5	W	1	89	1985	35	新	-	-	A	B	B	B	B	77
	99	教員住宅(教頭住宅)	9	W	1	82	1989	31	新	-	-	A	A	B	B	B	84
日吉小学校(日吉学園)	116	教員住宅(校長住宅)	22	W	1	77	1999	21	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	117	教員住宅(教頭住宅)	23-1	W	1	84	2004	16	新	-	-	A	A	A	A	A	100
永吉小学校	126	教員住宅(校長住宅)	15	W	1	75	1976	44	旧	-	-	A	C	C	C	D	41
	127	教員住宅(教頭住宅)	16	W	1	60	1976	44	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
伊作小学校	135	教員住宅(校長住宅)	11	W	1	80	1974	46	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	136	教員住宅(教頭住宅)	12	W	1	60	1975	45	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	137	教員住宅(教頭住宅)	12-1	W	1	11	2001	19	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	138	教員住宅(教頭住宅)	12-2	W	1	3	2001	19	新	-	-	A	A	A	A	A	100
花田小学校	149	教員住宅(教頭住宅)	14	W	1	60	1977	43	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	150	教員住宅(教頭住宅)	14-1	W	1	13	2001	19	新	-	-	A	A	A	A	A	100
	154	教員住宅(校長住宅)	20	W	1	89	1995	25	新	-	-	B	A	B	B	B	82
和田小学校	158	教員住宅(中之里教職員住宅中)	14	W	1	60	1978	42	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
	163	教員住宅(教頭住宅)	17	W	1	91	1993	27	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	164	教員住宅(校長住宅)	18	W	1	91	1993	27	新	-	-	A	A	B	B	B	84

■ : 築50年以上    ■ : 築30年以上

A : 概ね良好    C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報									構造躯体の健全性			劣化状況評価					
施設名	通し番号	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
									基準	診断	補強						
東市来中学校	174	教員住宅(校長住宅)	29	W	1	78	1984	36	新	-	-	B	A	B	B	B	82
	176	教員住宅(教頭住宅)	31	W	1	73	1988	32	新	-	-	B	A	B	B	B	82
上市来中学校	187	教員住宅(教頭住宅)	24	W	1	79	1991	29	新	-	-	A	A	B	B	B	84
	188	教員住宅(校長住宅)	25	W	1	79	1982	38	新	-	-	A	B	B	B	B	77
伊集院中学校	200	教員住宅(伊集院教職員住宅1)	26	W	1	109	1988	32	新	-	-	A	B	B	B	B	77
伊集院北中学校	225	教員住宅(教頭住宅)	28	W	1	82	1989	31	新	-	-	B	A	B	B	B	82
	227	教員住宅(校長住宅)	30	W	1	82	1991	29	新	-	-	A	A	B	B	B	84
土橋中学校	238	教員住宅(校長住宅)	13	W	1	83	1978	42	旧	-	-	B	C	C	C	D	39
	241	教員住宅(教頭住宅)	16	W	1	82	1994	26	新	-	-	B	A	B	B	B	82
日吉中学校(日吉学園)	251	教員住宅(校長住宅)	16	W	1	74	1998	22	新	-	-	B	A	B	B	B	82
	252	教員住宅(教頭住宅)	17	W	1	79	2001	19	新	-	-	B	A	A	A	A	98
吹上中学校	269	教員住宅(教頭住宅)	17	S	1	74	1977	43	旧	-	-	B	C	C	C	D	39
	270	教員住宅(校長住宅)	18	S	1	73	1978	42	旧	-	-	B	C	C	C	D	39
	271	教員住宅(中之里教職員住宅南)	19	W	1	61	1976	44	旧	-	-	A	B	C	C	D	52
伊集院中学校校長住宅	284	教員住宅	-	W	1	82	1989	31	新	-	-	B	B	B	B	B	75
伊集院教職員住宅2	285	教員住宅	-	W	1	82	1991	29	新	-	-	A	B	B	B	B	77
日置教職員住宅	286	教員住宅	-	W	1	62	1978	42	旧	-	-	A	C	C	C	D	41

## (2) 課題整理

本市の学校施設等の実態を踏まえた課題を次のように整理します。

### ○ 維持管理コストの縮減

学校施設等の床面積は9.4万㎡で、築30年以上が5割を超えています。今後、これらが改築や大規模改修工事の時期をむかえることで、多額の対策費用が集中して必要となります。

一方、人口減少や高齢化の進行により、税収が減少するとともに、「扶助費」の増加により、「投資的経費」の確保はさらに厳しくなることが予測されます。

学校施設等の維持管理に係るコストの縮減と、対策費用の平準化が必要です。

### ○ 実態に応じた施設整備

建物の劣化状況や不具合等に応じた改築や改修工事を行うほか、将来的な児童数・生徒数に対応した施設規模を検討する等、実態に応じた施設整備が必要です。

### ○ ニーズへの対応

教育内容や方法等の多様化、防災機能の強化、バリアフリー化、環境負荷の軽減等、学校施設に求められるニーズに対応する対策が必要です。

### ○ 学校規模の適正化の検討

少子化の進行により、学校の小規模化が進んでおり、本市においても学校再編に取り組んでいます。多様な教育活動を実施する環境を維持するため、学校規模の適正化は重要な取り組みです。

これらの検討にあたっては、児童・生徒にとって望ましい教育環境はどうあるべきかという観点に立ち、保護者や地域住民等の理解や協力を得ながら進めていくことが必要です。



---

## 第3章 施設整備の基本方針

---

# 1 学校施設の規模・配置計画等の方針

## (1) 学校規模の状況

小学校の規模は、過小規模校 7 校、小規模校 6 校、適正規模校 1 校、大規模校 1 校です。中学校は、過小規模校 1 校、小規模校 5 校、適正規模校 1 校です。全体の 8 割以上が過小規模校と小規模校です。

今後も児童・生徒数の減少傾向は続くことから、学校の小規模化も進行することが予測されます。

このような状況から、本市では学校再編に取り組んできており、今後も引き続き規模及び配置等の検討を行っていきます。

表：学校別の学級数による分類

	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
	5学級以下	6～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級以上
小学校	和田小学校 (3) 美山小学校 (4) 土橋小学校 (4) 永吉小学校 (4) 花田小学校 (4) 伊作田小学校 (5) 上市来小学校 (5)	鶴丸小学校 (6) 飯牟礼小学校 (6) 伊集院北小学校 (6) 日吉小学校 (日吉学園) (6) 湯田小学校 (8) 伊作小学校 (9)	妙円寺小学校 (17)	伊集院小学校 (27)	
	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
	2学級以下	3～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級以上
中学校	土橋中学校 (2)	上市来中学校 (3) 日吉中学校 (日吉学園) (3) 吹上中学校 (6) 東市来中学校 (7) 伊集院北中学校 (7)	伊集院中学校 (13)	—	—

表：小規模校及び過小規模校によるメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童・生徒と教師の距離が近く、一人一人への理解がより深まる。</li> <li>○ 意見や感想を発表できる機会が多くなる。</li> <li>○ 児童・生徒の特性に応じたきめ細やかな指導が可能である。</li> <li>○ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童・生徒が相互に学ぶ合う活動を充実させることができる。</li> <li>○ 児童・生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。</li> <li>○ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって利用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラス替えが全部又は一部の学年でできない。</li> <li>● クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。</li> <li>● 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる。</li> <li>● 集団性が必要な活動に支障がでる。</li> <li>● 専門の免許を有する教諭等による教科指導が困難である。</li> <li>● 運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる。</li> <li>● 人間関係が固定化されている。</li> <li>● 教員と児童・生徒との心理的な距離が近くなりすぎる。</li> </ul>

## (2) 規模・配置等の方針

上位計画である「第3期日置市教育振興基本計画（令和2年3月）」において、学校再編計画が策定されており、本計画においては、学校施設の規模・配置計画等の方針とします。

### 学校再編計画

#### 1 基本方針の概要（平成25年6月策定）

- ① 学校規模について
  - 小学校：1学級20人程度以上、6学級以上（全校で）
  - 中学校：1学級20人程度以上、学年2学級以上
- ② 学校の適正配置について
  - 小・中学校の配置は、日置市の学校現状、今後の児童生徒数の減少に係る推移、地理的条件、地域の実情などを考慮する。
  - 通学区域については、旧町域を原則とし、通学の安全性・利便性、地域の実情などについても考慮する。
- ③ 小・中学校の連携・接続の在り方について
  - 義務教育9年間を見通し、発達段階に応じた教育の推進、いじめなどの問題行動などの課題解決を図るために、より豊かな教育を行う新しい教育体制、小・中学校の連携・接続の在り方について検討する。
- ④ 学校と地域の関係について
  - 「良好な教育環境の実現」という共通目標に向けて、合意形成の経過を大切にし、保護者や地域住民と協議を進める。
  - 具体的に協議を進めるときには、児童生徒の教育環境の整備を最優先として、学校教育活動への影響、学校のもつ地域的意義、地理的条件など、地域の実情を配慮する。

再編計画では、第1次再編から第3次再編が段階的に予定されています。これに加え、令和3年4月に日吉小学校と日吉中学校を統合した「日吉学園」が開校します。

本計画においては再編計画を踏まえ、再編対象外の学校施設は、今後も現状の規模・配置を維持するものと仮定します。

表：再編計画（平成26年4月）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
第1次再編	上市来中					H30.4.1 日吉小学校開校					
	土橋中										
	住吉小、日新小、吉利小、扇尾小										
第2次再編						伊作田小、美山小					
						飯牟礼小					
						永吉小、花田小、和田小					
第3次再編									上市来小		
									土橋小		

資料：第3期日置市教育振興基本計画

## 2 改修等の基本的な方針

### (1) 長寿命化の方針

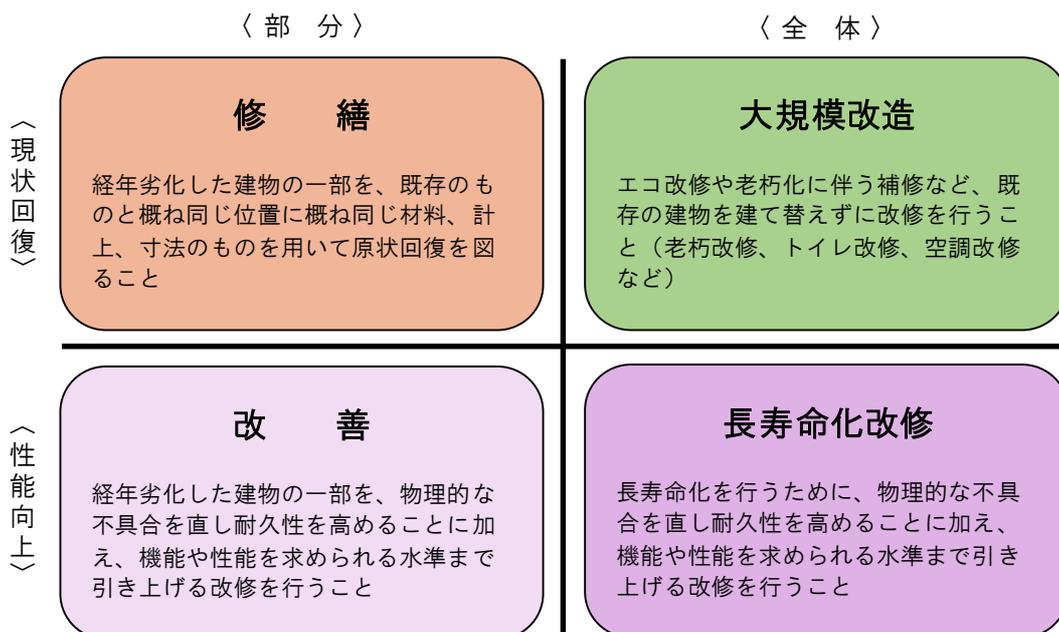
学校施設等を適切に維持管理するためには、建物の老朽化に伴う対策費用の確保が課題となります。本市の厳しい財政状況を踏まえると、従来の「改築」を中心とした対策では対応しきれない施設が大量に発生します。

施設を中長期的に維持管理するためには、財政面を考慮した上で、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減、対策費用の平準化が重要です。そのため、建物を長期間活用するため耐用年数を延ばす長寿命化改修を基本とした整備を推進します。

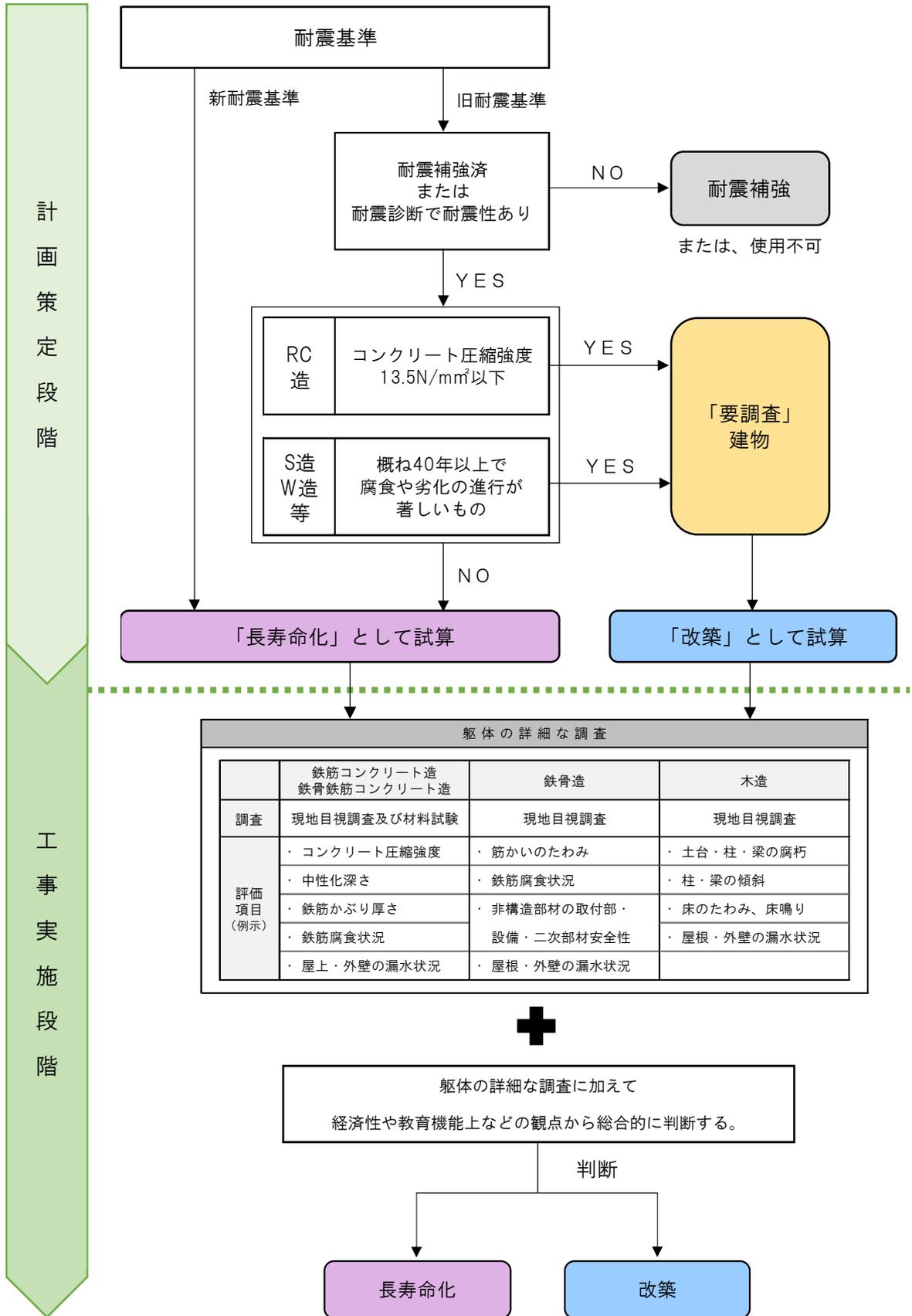
改修の方法には大きく4つの種類があり、これまでは「修繕」や「改善」、「大規模改造」等で施設の維持管理が行われてきました。これからは、施設の長期活用を念頭に、建物全体を改修し、併せて性能向上を伴う「長寿命化改修」により維持管理を行っていきます。

ただし、中には次のように「長寿命化改修」に適さない建物もあります。それらについては、改築、修繕、改善等で対応します。

- 劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築の方が経済的に望ましい建物
- 改築までの期間が短く長寿命化改修を行うと、維持に係る費用が高くなる建物
- コンクリート圧縮強度が著しく低い建物（おおむね 13.5N/mm<sup>2</sup> 以下）
- 校地環境または周辺環境の安全性が欠如している施設
- 学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設



【長寿命化の判定フロー】



資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）

改築と長寿命化改修には、それぞれメリット・デメリットがあります。長寿命化改修は、対策費用を縮減しつつ、改築とほぼ同等の効果が期待できます。

表：改築と長寿命化改修のメリット・デメリット

項目	メリット	デメリット
改築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設計や施工上の制約が少ない</li> <li>● 高層化や地下階の拡大が可能</li> <li>● 設計や施工が容易</li> <li>● 耐震基準、法規等対応可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃棄物が大量に発生する</li> <li>● 既存建物の解体と廃棄に費用と時間を要する</li> <li>● 工事に時間と費用を要する</li> </ul>
長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工期の短縮が可能</li> <li>● 工事費の縮減が可能</li> <li>● 廃棄物が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改修後 30 年間の使用期間の制約がある</li> <li>● 設計及び施工上の制約が多い</li> <li>● 間取りの変更に制約が生じる場合がある</li> </ul>

「長寿命化改修」では、建物の耐久性向上と建物の性能や機能を向上させるための工事を行います。

表：長寿命化改修工事の内容例

耐久性向上	構造躯体の経年劣化を回復 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリートの欠損補修・中性化対策</li> <li>・ 鉄筋の腐食対策 等</li> </ul>
	耐久性に優れた仕上材へ取り替え <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劣化に強い塗装・防水材等の使用</li> </ul>
	維持管理や設備更新の容易性を確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐用年数の長い部材の使用</li> <li>・ 設備の清掃・点検・交換が容易な位置に設置</li> </ul>
	ライフラインの更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給・排水施設</li> <li>・ 電気施設、ガス施設 等</li> </ul>
性能・機能向上	安全・安心な施設環境を確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震対策（非構造部材を含む）</li> <li>・ 防災機能の強化</li> <li>・ 事故防止、防犯対策 等</li> </ul>
	教育環境の質的向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な学習内容・学習形態への対応</li> <li>・ 学校教育や情報化の進展に対応</li> <li>・ 省エネルギー化・自然エネルギーの活用</li> <li>・ バリアフリー化</li> <li>・ 木材の利用 等</li> </ul>
	地域コミュニティの拠点形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災機能の強化</li> <li>・ バリアフリー化</li> <li>・ 地域住民の利用を考慮した教室等の配置の変更 等</li> </ul>

【長寿命化改修のイメージ】

■ 長寿命化のモデルケースとなる全面的な改修



(改修前)

★改修内容

- ・給排水、電気、ガス、消防、受変電設備等の更新
- ・外壁塗装に可とう型吹付タイル及び耐候性塗料の採用
- ・可能な範囲での配線配管の露出
- ・内装の木質化
- ・高効率照明の採用 など



(改修後)

■ 老朽化対策の新しい改修方法、安心・安全な施設環境+α

① 学習内容・学習形態の多様化への対応



- 教室配置の見直しによる学習しやすい環境づくり  
(廊下の壁を一部撤去し多目的スペースを整備)

② バリアフリー化



- 昇降口にスロープを設置

③ トイレ環境の改善



- トイレを子供たちの交流の場に  
(手洗い場を島のように配置)

④ 防災機能の強化



- 多目的トイレの整備

⑤ 地球環境問題への対応



- 木材利用による豊かな環境づくり  
(地域材による内装木質化)

⑥ 構造躯体の耐久性向上



- 構造躯体の部分的な欠損に対する改修  
(コンクリートの欠損箇所補修)

資料：文部科学省「学校施設の長寿命化改修に関する事例集」

## (2) 目標使用年数の設定

「日置市公共施設等総合管理計画」の基本方針において、「今後維持していく施設については、計画的な点検や修繕等による予防保全型の維持管理を実施することで、建替えのタイミングを70年に延ばします。」と定めています。

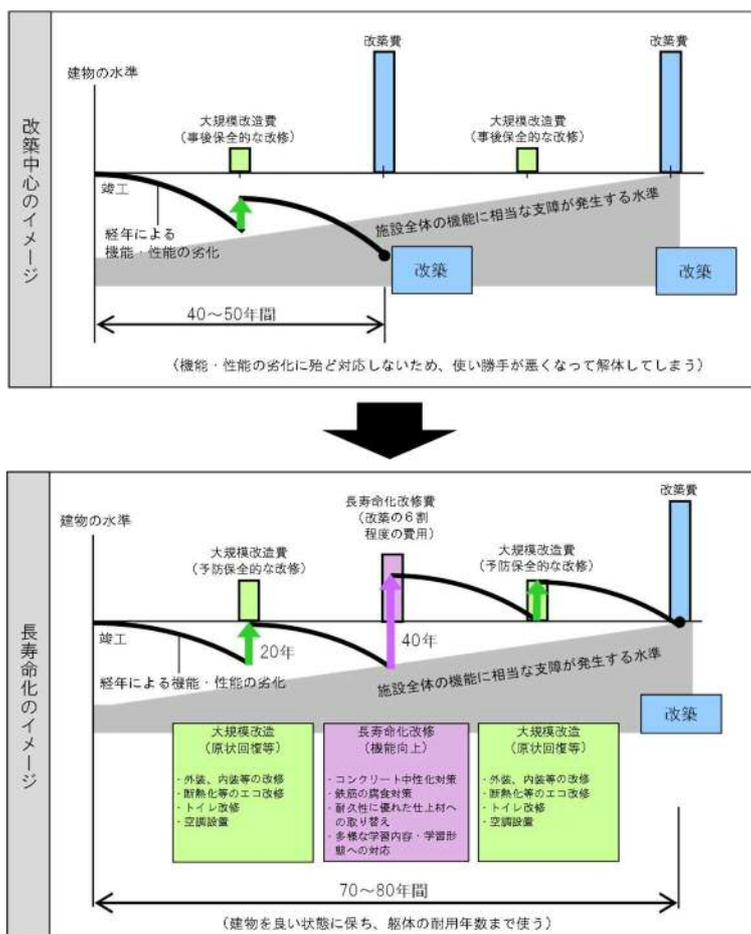
学校施設等はこれに準拠し、目標使用年数を「70年」に設定します。

## (3) 改修周期の設定

改築中心から長寿命化へ転換し、あらかじめ設定した目標使用年数まで使用することを目標に、適切な時期に改修を行います。

これまでの改築中心は、劣化や破損等の大規模な不具合が生じた際に改修を行い目標とする使用年数で改築していました。

長寿命化では、概ね築20年に大規模な予防保全の改修を行い、概ね40年目に長寿命化改修、その後、大規模な予防保全の改修を行うこととなります。定期的に必要な改修を行うことで、経年による劣化の回復と、学校施設等の機能・性能を求められる水準まで引き上げる取り組みを行います。



図：改築中心から長寿命化への転換イメージ

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）

---

## 第4章 整備水準

---

# 1 改修等の整備水準

整備水準を高めるほど整備コストは高額になりますが、建物性能の向上による寿命の延長や、設備等機能の向上による管理コストの縮減が期待されます。限られた予算を効率的、効果的に運用するため、整備コストと機能向上のバランスが図られた統一的な整備水準が必要です。

本市の学校施設の整備水準は下記を基本としますが、対象建物の仕様や劣化状況、財政状況等により柔軟に変更します。

表：長寿命化改修の整備水準

部 位		長寿命化改修の整備水準
外 部	躯体	補修（かぶり厚確保・中性化対策等）
	屋根・屋上	シート防水、塗膜防水等
	外壁	ひび割れ・爆裂部補修、アクリル系塗料等
	外部建具	コーキング打替、アルミサッシ等
内 部	床	補修
	壁	塗替え等
	天井	塗替え等
	バリアフリー化	手すり・スロープ設置
設 備	電気設備	受変電設備交換
		照明のLED化
	機械設備	給排水・ガス管改修等
		空調設備設置
衛生設備	トイレのドライ化・洋式化	

## 2 維持管理の項目・手法等

### (1) 維持管理の項目

学校施設は、児童・生徒の学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所として地域住民の生活の拠点としての役割も担うため、平常時だけでなく災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。

建築当初は確保されていた性能も、経年劣化等により必要な性能を満たさなくなっていくことから、施設の点検、点検結果に基づく適切な改修や修繕、点検結果や修繕履歴の蓄積や一元管理等が必要になります。

### (2) 維持管理の手法

#### ① 点検

点検には、施設管理者が日常的に行う点検と、有資格者が建築基準法 12 条に基づいて定期的に行う法定点検があります。

学校施設においては、日常点検と定期点検（法定点検と同等）の実施により、劣化や不具合箇所を早期に発見します。

表：建築基準法に基づく法定点検

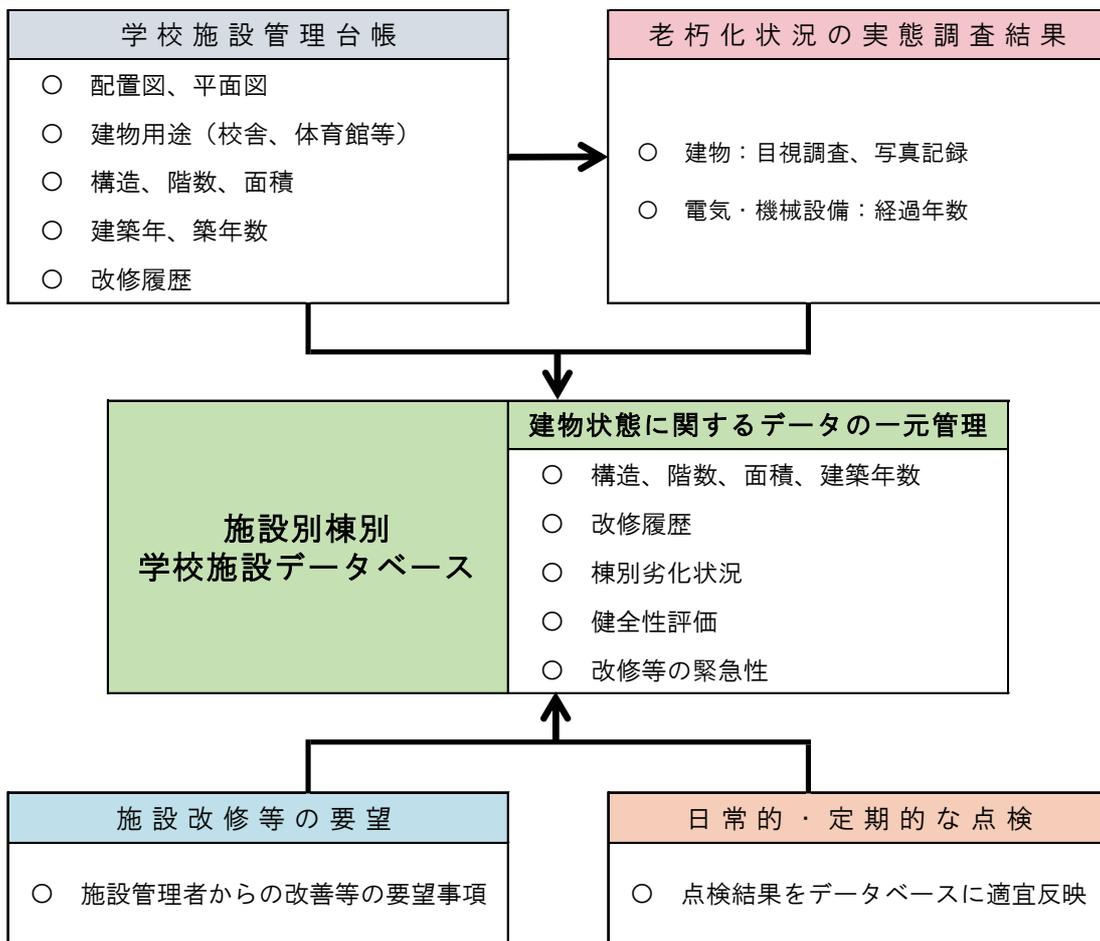
点検する項目		点検内容	点検する項目	点検内容
A. 敷地及び地盤			D. 建築物の内部	
地盤	不陸、傾斜等		天井	劣化・損傷
敷地	排水		防火設備	劣化・損傷
敷地内通路	通路の確保、支障物		照明器具、懸垂物等	劣化・損傷
塀	劣化・損傷		居室の採光及び換気	劣化・損傷、作動
擁壁	劣化・損傷		E. 避難施設等	
B. 建築物の外部			居室から地上への通路	基準適合性
基礎・土台		劣化・損傷、沈下	廊下、出入口	物品放置
外壁	躯体等	劣化・損傷	避難上有効なバルコニー	劣化・損傷
	外装仕上材	劣化・損傷	階段	劣化・損傷
	窓サッシ等	劣化・損傷	排煙設備等	防煙壁
C. 屋上及び屋根				非煙設備
屋上面、屋上周り	劣化・損傷	非常時の設備等	進入口等	維持保全
機器及び工作物	劣化・損傷		照明装置	劣化・損傷
D. 建築物の内部			F. その他	
防火区画	劣化・損傷	特殊構造等（免震構造等）		劣化・損傷
内壁	劣化・損傷	避雷設備		劣化・損傷
床	劣化・損傷	煙突		劣化・損傷

## ② 修繕・改修

予防保全での管理を基本とし、外装（屋根・屋上、外壁）や内装（内部仕上）は点検による劣化、不具合状況で修繕・改修します。電気・機械設備は、耐用年数を目安に経過年数と点検結果で修繕・改修を行います。

## ③ 点検・評価結果の蓄積

建物の日常・定期点検により老朽化の状況結果と、改修履歴を含めた施設の情報データベース化し、更新することで長寿命化を図るための大規模改修を計画的かつ円滑に行います。



図：点検・評価結果のデータベース化（イメージ）

---

## 第5章 実施計画

---

# 1 ライフサイクルコストの算定

学校施設等を今後も保有し続け、改修を行いながら耐用年数経過後に現在と同じ規模で改築を行う場合（事後保全型管理）と、適切な時期に長寿命化改修を行い、計画的に施設の長寿命化を図った場合（予防保全型管理）について、国のライフサイクルコスト（以下、LCC）算出の考え方にに基づき算出します。

LCCの算出は、長寿命化改修を実施しない場合と実施した場合、それぞれについて、建設時点から改築までに要するコストについて比較・検討します。

LCCとは、建築物の企画設計段階、建設段階、運用管理段階及び解体再利用段階の各段階のコスト（費用）の総計のこと。

- 長寿命化型改善を実施しない場合⇒コストは少ないが、使用年数が短い
- 長寿命化型改善を実施した場合 ⇒コストは高いが、使用年数が長い

## (1) 試算条件

学校施設のコスト試算は、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（以下、付属エクセルソフト）を使用します。

改築単価は建築着工統計調査より設定をしています。

表：改築単価の設定根拠

施設名	工事費 (円)	延床面積 (㎡)	改築単価 (円/㎡)
校舎、体育館、 武道場、園舎、 給食センター	564,616,800 (工事管理費は除く)	1,456	387,786 ≒388,000 (円/㎡)
寄宿舎	516,702,780,000 (過去5年間の総計)	3,208,015 (過去5年間の総計)	161,066 ≒161,000 (円/㎡)
その他	36,715,280,000 (過去5年間の総計)	408,180 (過去5年間の総計)	89,949 ≒90,000 (円/㎡)

参考：

【校舎、体育館、武道場、園舎、給食センター】  
日置市実績（令和2年度 日吉学園増築工事）

【寄宿舎】

平成27年度～令和元年度 国土交通省「建築着工統計調査：第3表 着工建築物 用途別、構造別（建築物の数、床面積の合計、工事予定額）」  
鹿児島県の「木造の居住専用住宅」

【その他】

平成27年度～令和元年度 国土交通省「建築着工統計調査：第3表 着工建築物 用途別、構造別（建築物の数、床面積の合計、工事予定額）」  
鹿児島県の「鉄骨造の倉庫」

改築単価を基に、施設ごとの改修等単価を設定しました。

表：試算のための単価設定

工事種別		校舎、園舎、給食センター		体育館、武道場	
		割合	設定単価	割合	設定単価
改築		100.0%	388,000 円/㎡	100.0%	388,000 円/㎡
長寿命化改修		60.0%	232,800 円/㎡	60.0%	232,800 円/㎡
大規模改造		25.0%	97,000 円/㎡	22.0%	85,360 円/㎡
部位修繕	屋根・屋上	3.5%	13,580 円/㎡	3.0%	11,640 円/㎡
	外壁	5.1%	19,788 円/㎡	3.5%	13,580 円/㎡
	内部仕上	5.6%	21,728 円/㎡	5.6%	21,728 円/㎡
	電気設備	4.0%	15,520 円/㎡	4.8%	18,624 円/㎡
	機械設備	3.7%	14,356 円/㎡	1.7%	6,596 円/㎡
工事種別		寄宿舍		その他	
		割合	設定単価	割合	設定単価
改築		100.0%	161,000 円/㎡	100.0%	90,000 円/㎡
長寿命化改修		60.0%	96,600 円/㎡	60.0%	54,000 円/㎡
大規模改造		25.0%	35,420 円/㎡	25.0%	22,500 円/㎡
部位修繕	屋根・屋上	3.5%	4,830 円/㎡	3.5%	3,150 円/㎡
	外壁	5.1%	5,635 円/㎡	5.1%	4,590 円/㎡
	内部仕上	5.6%	9,016 円/㎡	5.6%	5,040 円/㎡
	電気設備	4.0%	7,728 円/㎡	4.0%	3,600 円/㎡
	機械設備	3.7%	2,737 円/㎡	3.7%	3,330 円/㎡

※割合は文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」に準じる

実施周期を設定しました。

表：改修等の実施周期

	事後保全型（従来型）	予防保全型（長寿命化型）
基準年度	令和2（2020）年度（試算期間：基準年度の翌年度から40年間）	
改築	築50年目	長寿命化 築70年目（50年+20年）
長寿命化改修	—	築40年目
大規模改造	20年	20年
部位修繕	—	D評価：5年以内 C評価：10年以内

※試算条件は付属エクセルソフトのプログラムで設定されている

表：コストの試算条件

工種	内容	
	事後保全型（従来型）	予防保全型（長寿命化型）
改築	2021年の時点で改築の実施周期より古い建物は、今後10年以内に改築を実施するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上する。	実施周期の通り ※長寿命化改修ができない建物は、実施周期及びコストの試算条件は事後保全型（従来型）の内容と同じ
長寿命化	—	2021年の時点で長寿命化改修の実施周期より古い建物は、今後10年以内に長寿命化改修を実施するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上する。
大規模改造	実施周期の通り	実施周期の通り ※改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない
部位修繕	—	C、D評価の部位は今後10年以内に修繕するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上する。 ※改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合は実施しない

※以上の内容は付属エクセルソフトのプログラムで設定されている。

## （2） 試算結果

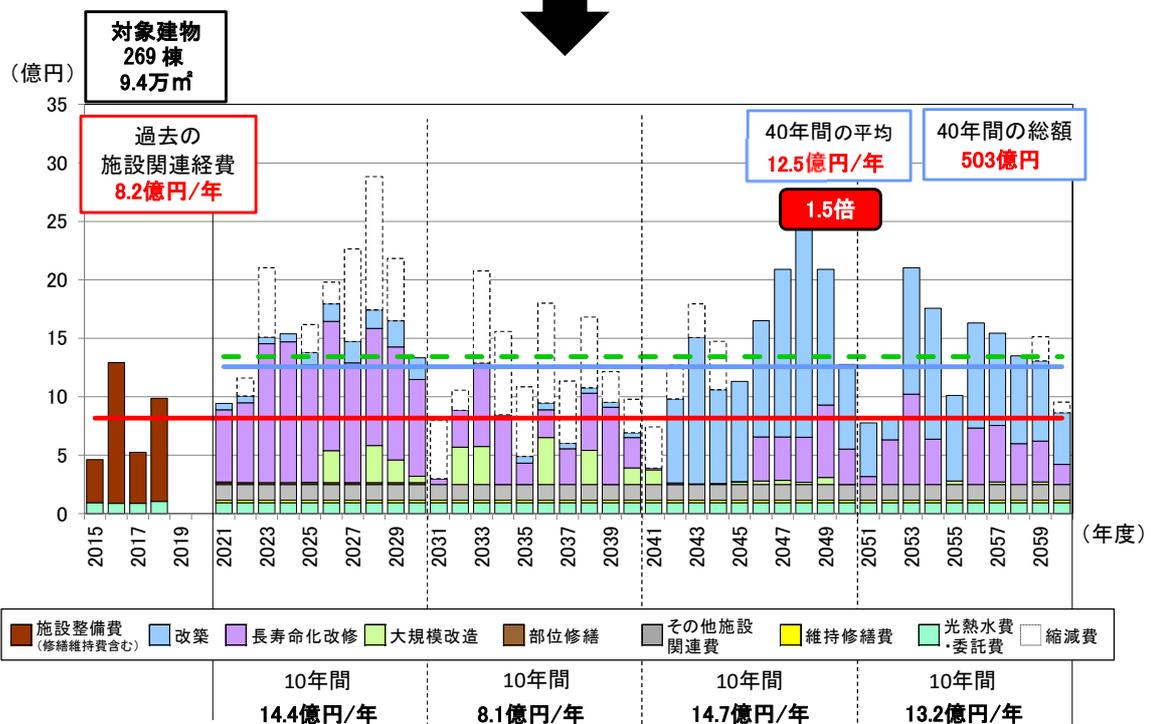
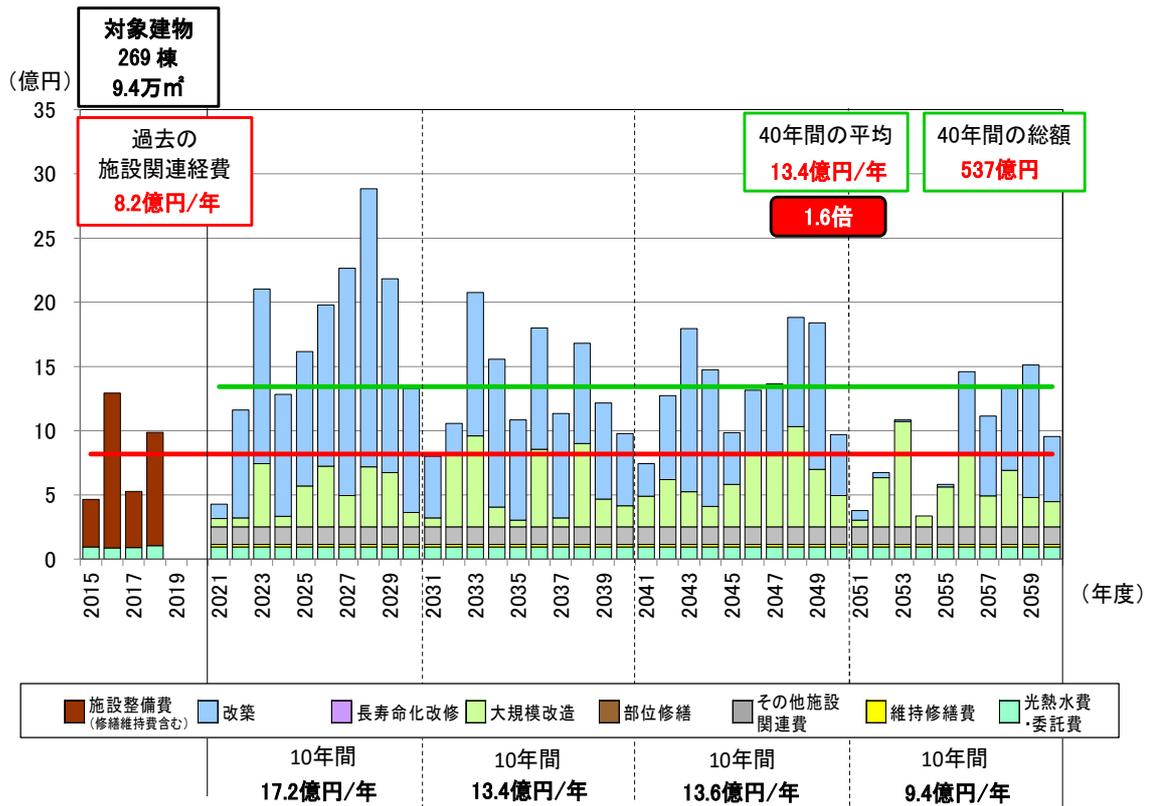
単価、実施周期、試算条件等に基づき、事後保全型管理と予防保全型管理の40年間の維持管理コストを算出しました。

比較すると、予防保全型管理が34億円（0.9億円/年）安価となり、LCCが縮減されます。

表：維持・更新コスト算出結果の比較

	1年目～ 10年目	11年目～ 20年目	21年目～ 30年目	31年目～ 40年目	40年間 合計	40年間 平均
事後保全型 （従来型）	172億円	134億円	136億円	94億円	537億円	13.4億円/年
予防保全型 （長寿命化型）	144億円	81億円	147億円	132億円	503億円	12.5億円/年
差額	▲28億円	▲53億円	11億円	38億円	▲34億円	▲0.9億円/年

※計算上の理由により、10年間の平均コストの合計と40年間の総額は必ずしも一致しない。



図：今後の維持・更新コスト「従来型（上図）」と「長寿命化型（下図）」の比較

※2020年以降の「その他施設関連費」「維持修繕費」「光熱水費・委託費」は、2015年～2018年の平均額としている。

## 2 施設評価及び改修等の優先順位

### (1) 実施計画の対象建物

以下の手順で実施計画の対象建物を選定しました。

#### ステップ1

- 校舎、体育館、園舎等の主施設を選定（全 269 棟 → 101 棟）
- 教職員住宅や便所、部室、倉庫等の小規模（200 m<sup>2</sup>未満）な付属建物は対象外\*とし、事後保全管理を行う

※ 小規模（200 m<sup>2</sup>未満）な付属建物を対象外にした理由は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）」において概ね 200 m<sup>2</sup>以下の建物は計画の対象外としてもよいと記載があるため



#### ステップ2

- 今後も継続して利用が考えられる施設の建物を選定（101 棟 → 64 棟）
- 「第3期日置市教育振興基本計画（令和2年3月）」において学校再編計画の対象となっている施設の建物は対象外とし、事後保全管理を行う



#### ステップ3

- 劣化状況評価の健全度が70点未満の建物を選定（64 棟 → 28 棟）
- 健全度が70点以上の建物は対象外とし、事後保全管理を行う

本計画では、上記のステップ3で選定した28棟を対象に実施計画の検討を行います。

## (2) 施設評価

前項で選定した 28 棟（幼稚園 3 棟、小学校 8 棟、中学校 15 棟、給食センター 2 棟）を健全度が低い方から並べると次のようになります。

表：健全度の低い順

順位	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	健全度
1	飯牟礼幼稚園	園舎	1	S	1	170	51	34
1	土橋幼稚園	園舎	1	S	1	220	51	34
3	伊作小学校	屋内運動場（体育館）	10	RC	1	579	45	34
4	伊集院北中学校	屋内運動場	19	RC	1	700	42	34
5	東市来幼稚園	園舎	2	RC	1	181	45	39
6	吹上中学校	特別教室棟	2	RC	3	1,540	43	39
7	吹上中学校	屋内運動場	10	RC	1	1,040	42	41
8	伊集院北中学校	南校舎	16	RC	2	1,392	46	49
9	鶴丸小学校	管理教室棟	14	RC	2	1,298	44	49
10	吹上中学校	管理普通教室棟	1	RC	3	2,756	43	49
10	吹上中学校	渡廊下	3	RC	3	198	43	49
10	吹上中学校	給食室・コンテナ室	4	RC	1	132	43	49
13	吹上中学校	武道場（柔剣道場）	11	RC	2	350	42	49
14	伊集院小学校	屋内運動場	21	RC	1	1,000	35	51
15	妙円寺小学校	西校舎	14	S	1	164	22	54
16	鶴丸小学校	屋内運動場	19-1	RC	1	695	40	54
17	東市来中学校	教室棟	20	RC	1	298	55	55
18	鶴丸小学校	教室棟	16	RC	2	570	41	57
19	日吉中学校（日吉学園）	屋内運動場	3	RC	2	953	47	59
20	日置市東市来 学校給食センター	給食センター	1	RC	2	587	31	59
21	伊集院小学校	集いの木の家	23	W	2	352	33	62
22	日置市立伊集院 学校給食センター	給食センター	2	RC	2	630	33	65
23	伊集院北中学校	北校舎	33	RC	2	850	21	65
24	鶴丸小学校	倉庫	19-2	S	1	50	29	66
25	東市来中学校	教室棟	30	RC	2	852	34	67
26	伊集院北中学校	北校舎	27	RC	2	1,412	31	67
27	日吉中学校（日吉学園）	校舎棟	1	RC	3	2,601	48	69
28	日吉中学校（日吉学園）	管理棟	2	RC	2	1,155	47	69

### (3) 改修等の優先順位

---

実施計画を検討するにあたっての改修等の優先順位は以下の通りとします。

#### ① 通常学級編成の変更に伴う教室増対応工事

現在、小学校の通常学級は1クラスの上限を40人（1年生のみ35人）としていますが、来年度からの5年間で1クラスの上限を35人へ引き下げることが閣議決定されました。これに伴い、本市では今後教室数が不足する学校が発生するため、校舎の増築工事を行います。対象は湯田小学校と伊集院小学校の2校で、来年度から令和5年度にかけて設計及び工事を行う予定です。

#### ② 給食センターの改修工事

現時点で既に計画されている伊集院学校給食センターのキュービクル改修を令和3年度に行います。

#### ③ 実施計画の対象建物の整備

上記の1、2の工事が完了した令和6年度より、実施計画の対象とした28棟の整備を行っていきます。基本的には健全度の低い順に改修等を行っていきませんが、築年数の関係で順番が前後する場合があります。